

「第3次穴粟市地域福祉計画」策定における  
市民アンケート調査  
結果報告書

平成31（2019）年4月

穴 粟 市

## 目 次

1. 調査目的.....	1
2. 調査概要.....	1
3. 報告書の見方.....	1
4. 調査結果.....	2
1. あなたご自身についておたずねします。.....	2
2. 「福祉」についておたずねします。.....	7
3. 「隣近所との関わり」についておたずねします。.....	9
4. 「日常生活」についておたずねします。.....	12
5. 「地域活動」についておたずねします。.....	19
6. 「ボランティア活動」についておたずねします。.....	22
7. 「災害時に関すること」についておたずねします。.....	27
8. 「福祉サービス」についておたずねします。.....	29
9. 「生活困窮者の支援」についておたずねします。.....	33
10. 「地域福祉に関わる団体等」についておたずねします。.....	34
11. 「宍粟市の地域福祉施策」についておたずねします。.....	38

# 1. 調査目的

宍粟市の市民の福祉に対する意識や地域活動への参加状況などの実態を把握するとともに、ご意見、ご提言を広くお聞きし、計画を策定する基礎資料として活用するために実施しました。

# 2. 調査概要

- 調査地域：宍粟市全域
- 調査対象者：20歳以上の住民 2,000人を対象に無作為抽出
- 調査期間：平成31（2019）年2月14日～2月28日
- 調査方法：郵送による配布回収
- 回収状況：配布数：2,000件  
有効回収数：1,034件（有効回答率：51.7%）

# 3. 報告書の見方

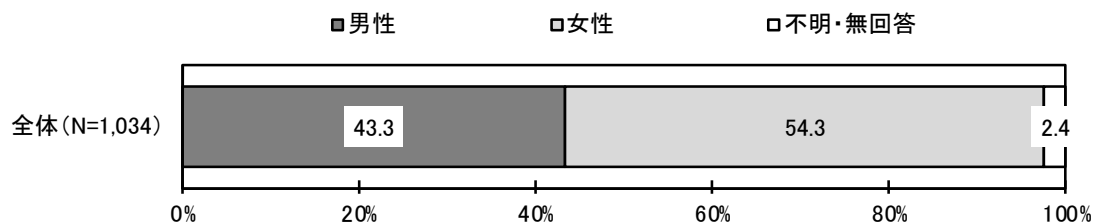
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- グラフ及び表のN数（number of case）、「サンプル数」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

## 4. 調査結果

### 1. あなたご自身についておたずねします。

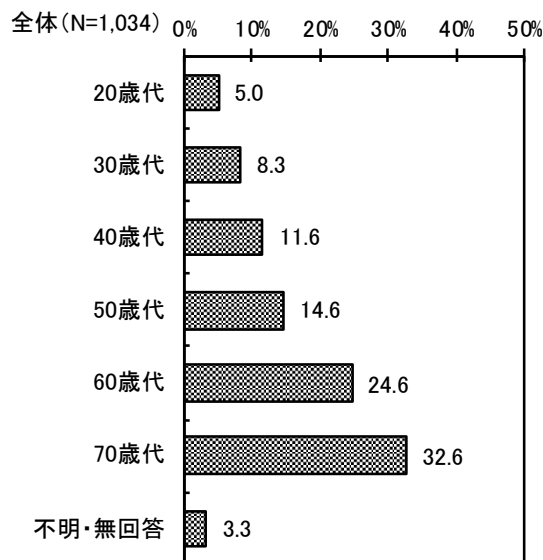
問1 あなたの性別はどちらですか。(ひとつだけ○)

性別については、「男性」が43.3%、「女性」が54.3%となっています。



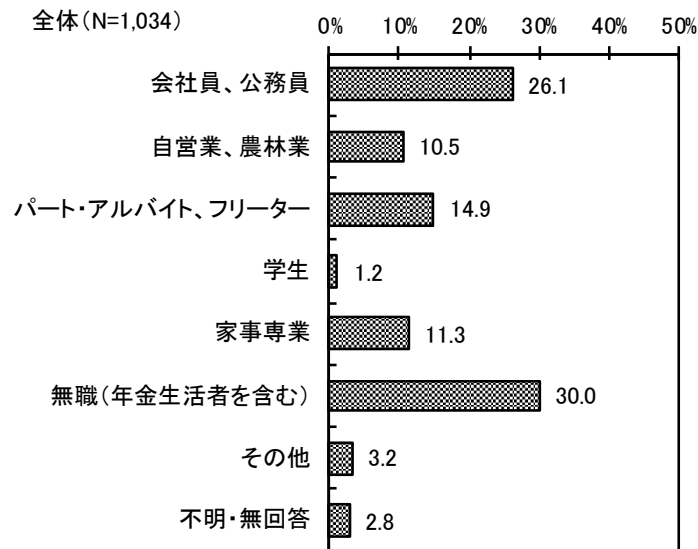
問2 あなたの年代はどれですか。(ひとつだけ○)

年代については、「70歳代」が32.6%と最も高く、次いで「60歳代」が24.6%、「50歳代」が14.6%となっています。



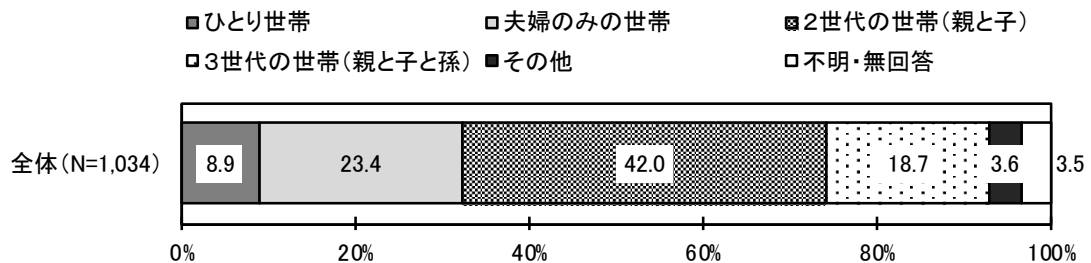
問3 あなたの主な職業は何ですか。(ひとつだけ○)

職業については、「無職（年金生活者を含む）」が30.0%と最も高く、次いで「会社員、公務員」が26.1%、「パート・アルバイト、フリーター」が14.9%となっています。



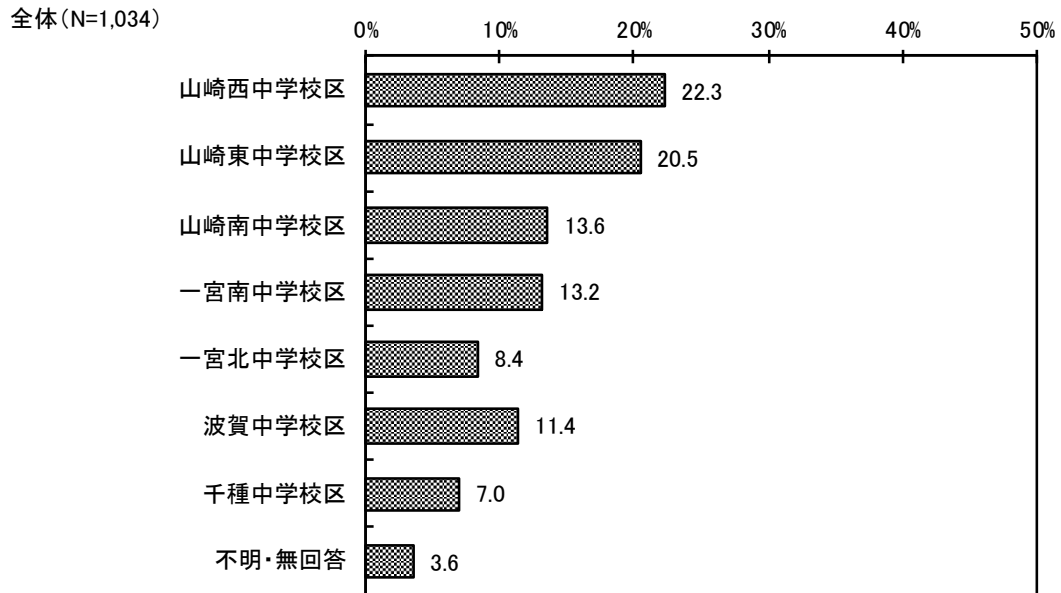
問4 あなたの家族構成はどのようになっていますか。(ひとつだけ○)

家族構成については、「2世代の世帯（親と子）」が42.0%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」が23.4%、「3世代の世帯（親と子と孫）」が18.7%となっています。



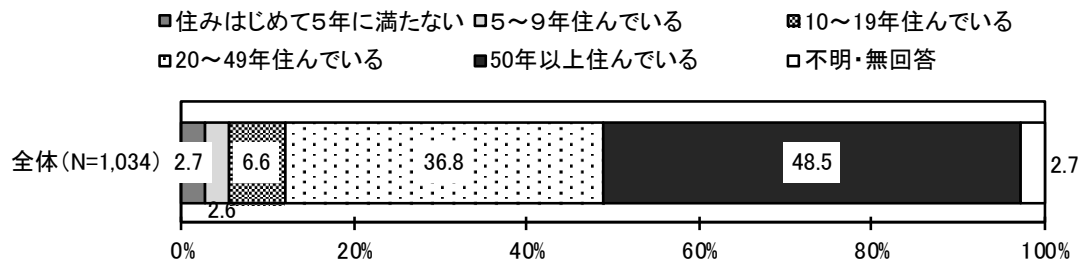
問5 あなたのお住まいをおたずねします。(ひとつだけ○)

居住地区については、「山崎西中学校区」が22.3%と最も高く、次いで「山崎東中学校区」が20.5%、「山崎南中学校区」が13.6%となっています。



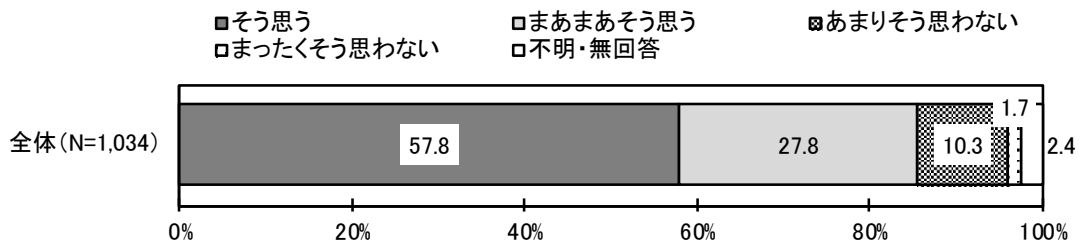
問6 あなたは宍粟市に何年住んでいますか。(ひとつだけ○)

居住年数については、「50年以上住んでいる」が48.5%と最も高く、次いで「20～49年住んでいる」が36.8%、「10～19年住んでいる」が6.6%となっています。



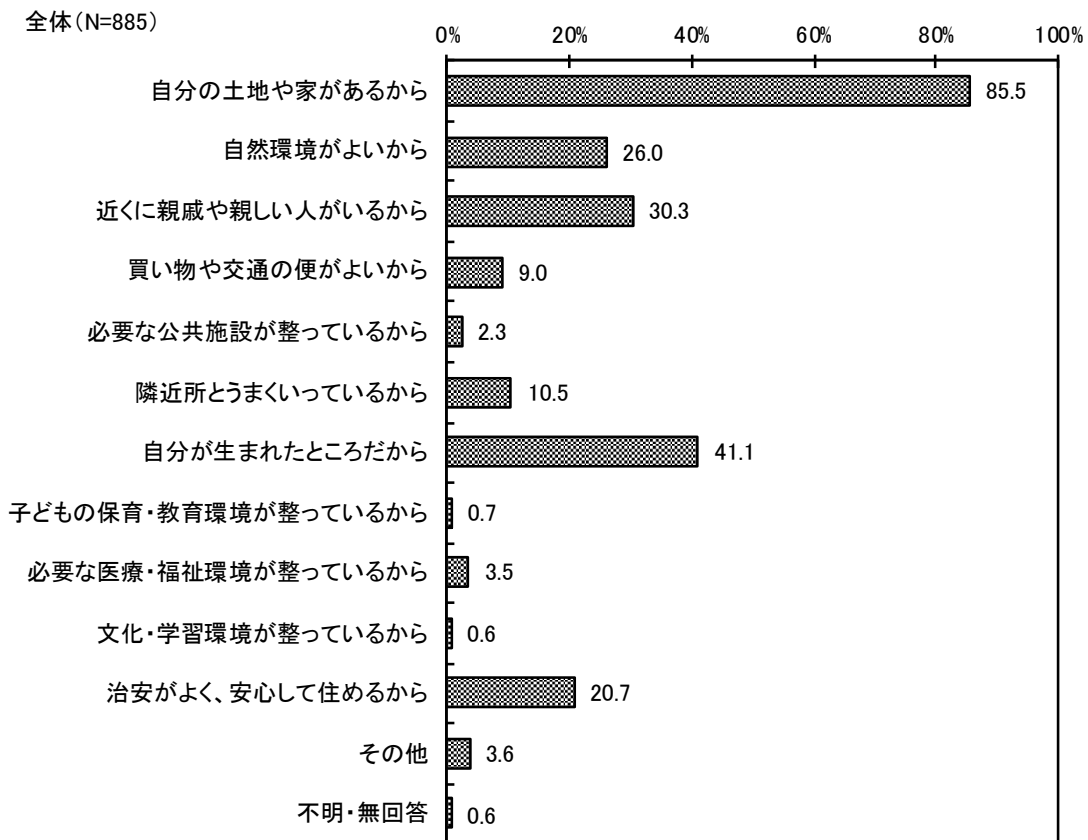
問7 あなたは宍粟市にこれからも住み続けたいと思いますか。(ひとつだけ○)

宍粟市にこれからも住み続けたいと思うかについては、「思う」(「そう思う」と「まあまあ思う」の合計)が85.6%、「思わない」(「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」の合計)が12.0%となっています。



問7- (1) 問7で「そう思う」または「まあまあ思う」を選ばれた方  
その理由はなぜですか。(○は3つまで)

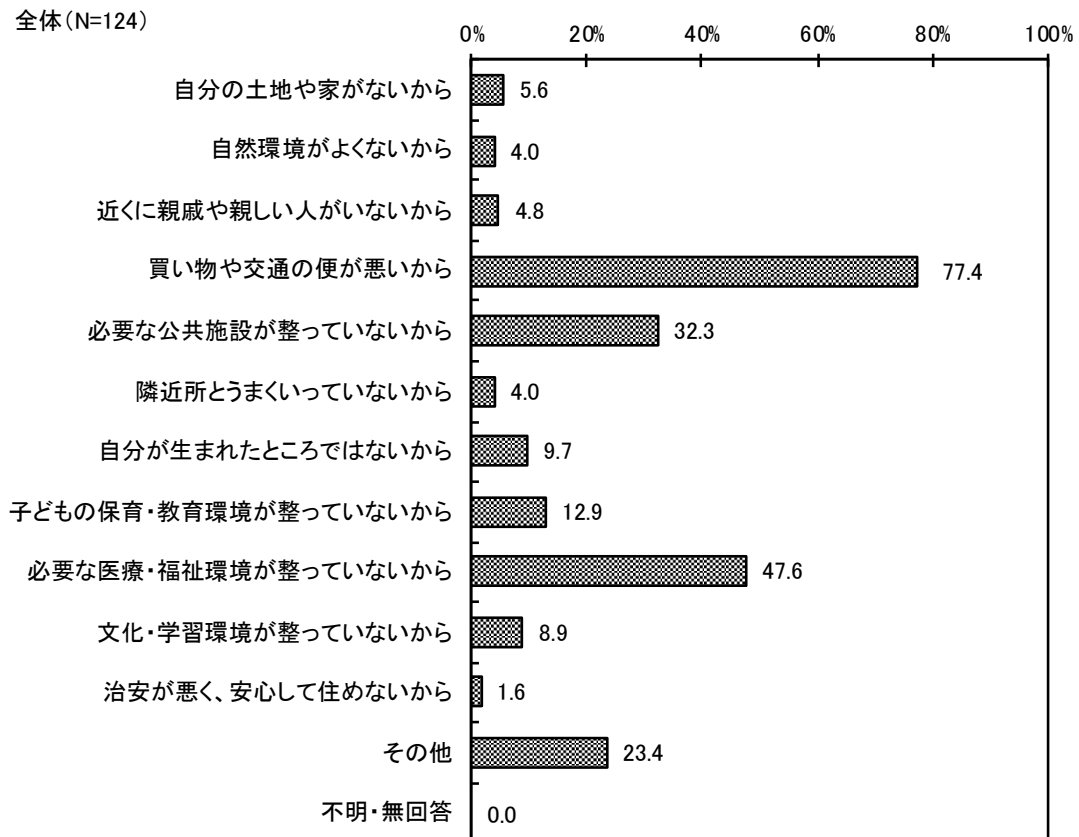
住み続けたいと思う理由については、「自分の土地や家があるから」が85.5%と最も高く、次いで「自分が生まれたところだから」が41.1%、「近くに親戚や親しい人がいるから」が30.3%となっています。



問7ー(2) 問7で「あまりそう思わない」または「まったくそう思わない」を選ばれた方

その理由はなぜですか。(〇は3つまで)

住み続けたいと思わない理由については、「買い物や交通の便が悪いから」が77.4%と最も高く、次いで「必要な医療・福祉環境が整っていないから」が47.6%、「必要な公共施設が整っていないから」が32.3%となっています。

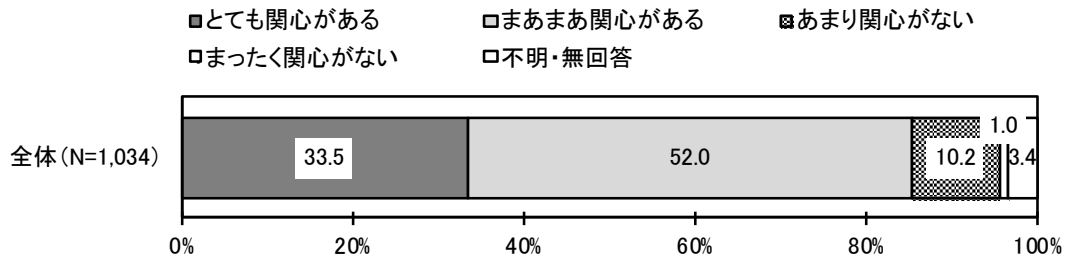




## 2. 「福祉」についておたずねします。

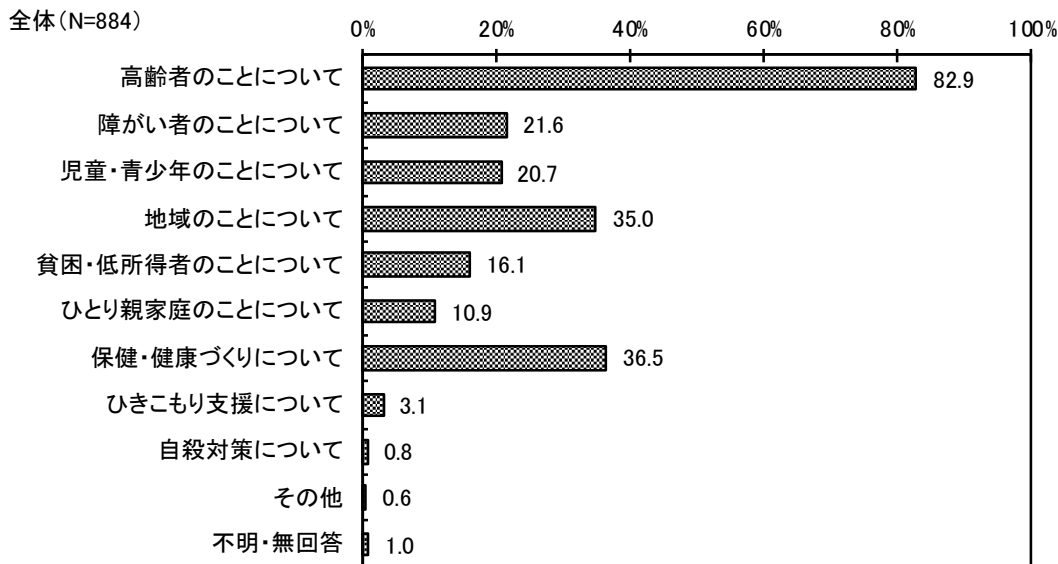
### 問8 あなたは福祉に関心をお持ちですか。(ひとつだけ○)

福祉に関心を持っているかについては、「関心がある」(「とても関心がある」と「まあまあ関心がある」の合計)が85.5%、「関心がない」(「あまり関心がない」と「まったく関心がない」の合計)が11.2%となっています。



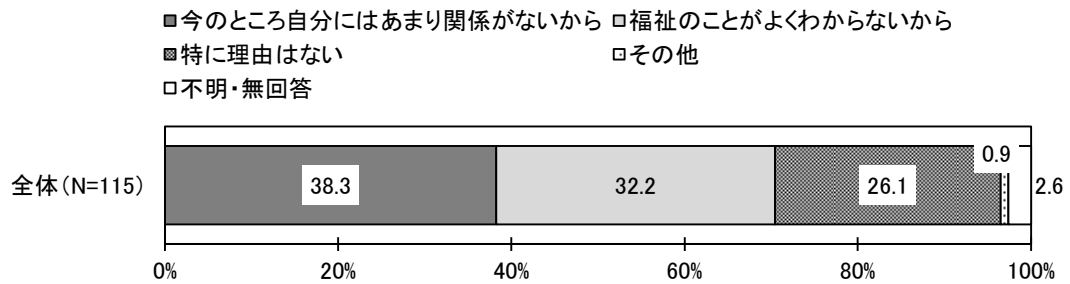
### 問8-1(1) 問8で「とても関心がある」または「まあまあ関心がある」を選ばれた方福祉に関するどの分野に関心がありますか。(○は3つまで)

関心のある福祉の分野については、「高齢者のことについて」が82.9%と最も高く、次いで「保健・健康づくりについて」が36.5%、「地域のことについて」が35.0%となっています。



問8－(2) 問8で「あまり関心がない」または「まったく関心がない」を選ばれた方  
その理由は何ですか。(ひとつだけ○)

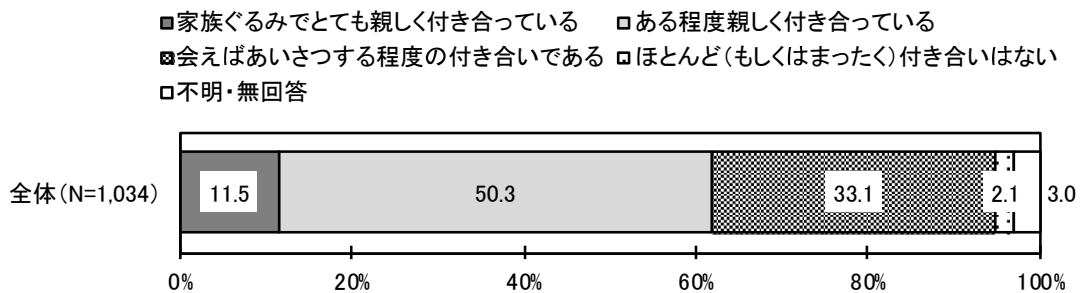
福祉に関心がない理由については、「今のところ自分にはあまり関係がないから」が38.3%と最も高く、次いで「福祉のことがよくわからないから」が32.2%、「特に理由はない」が26.1%となっています。



### 3. 「隣近所との関わり」についておたずねします。

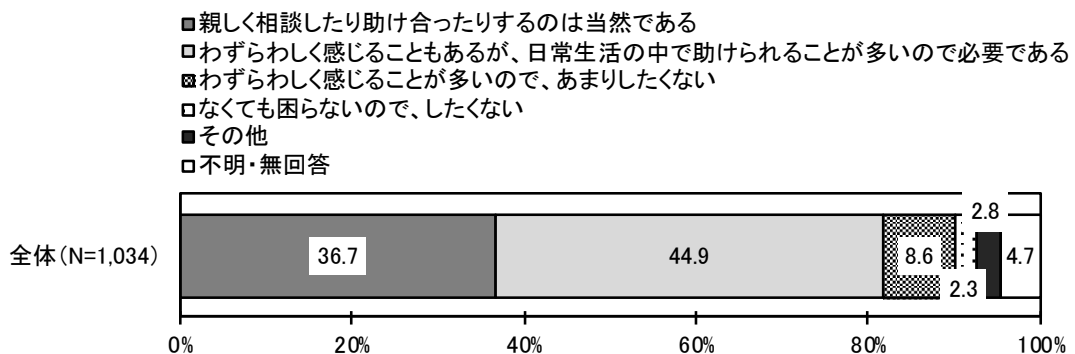
問9 あなたは普段、近所の人とどの程度の付き合いをされていますか。  
(ひとつだけ○)

普段の近所の人との付き合いの程度については、「ある程度親しく付き合っている」が50.3%と最も高く、次いで「会えばあいさつする程度の付き合いである」が33.1%、「家族ぐるみでとても親しく付き合っている」が11.5%となっています。



問10 あなたの近所の人との付き合いに対する考え方は、次のどれですか。  
(ひとつだけ○)

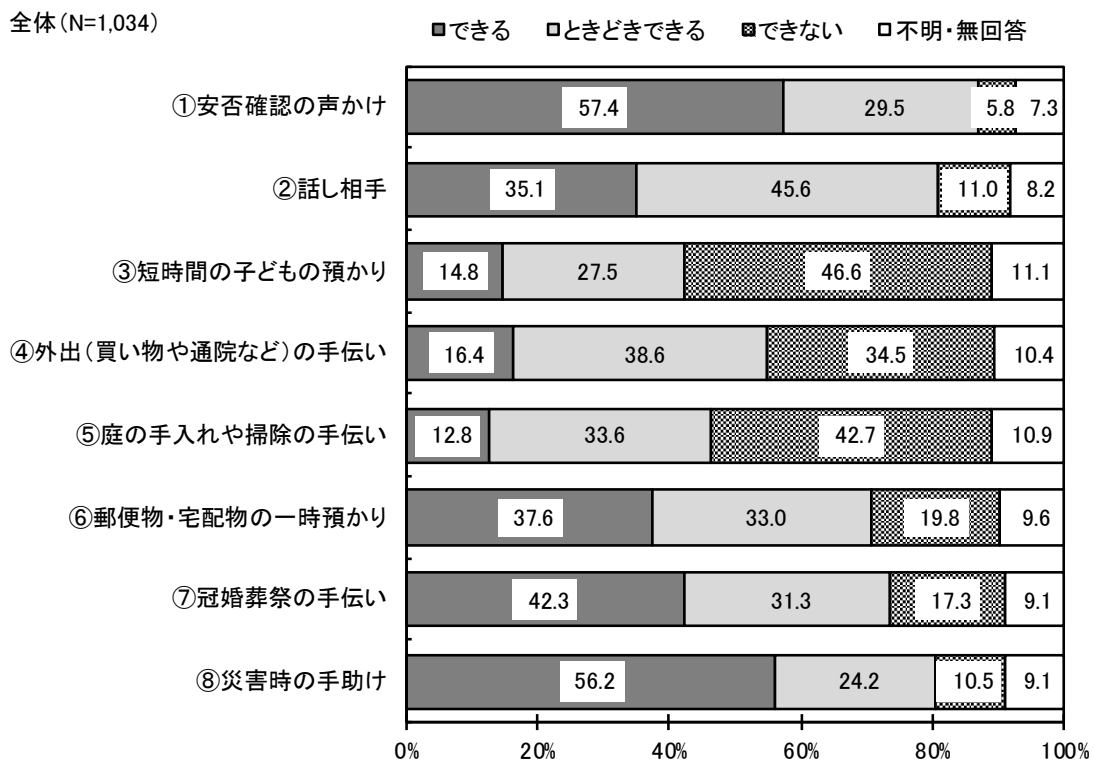
近所の人との付き合いに対する考え方については、「わずらわしく感じることもあるが、日常生活の中で助けられることが多いので必要である」が44.9%と最も高く、次いで「親しく相談したり助け合ったりするのは当然である」が36.7%、「わずらわしく感じる人が多いので、あまりしたくない」が8.6%となっています。



問 11 あなたは近所の人から頼まれた場合、どのようなことができると思いますか。  
 (①～⑧の各項目について、ひとつだけ〇)

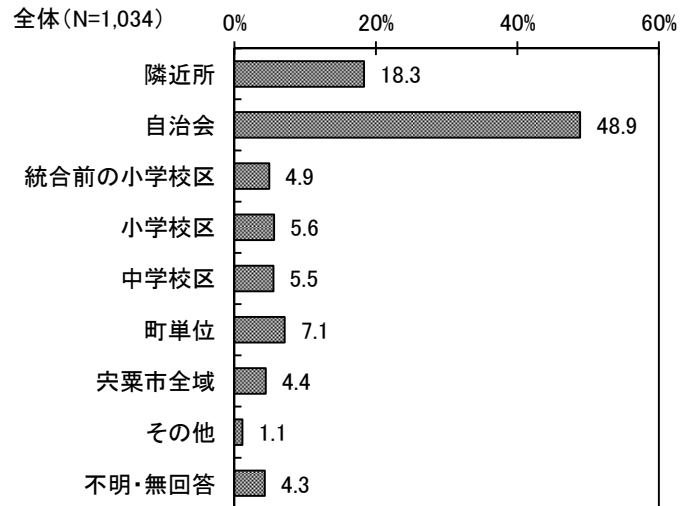
近所の人から頼まれた場合にできることについては、『①安否確認の声かけ』『②話し相手』『⑥郵便物・宅配物の一時預かり』『⑦冠婚葬祭の手伝い』『⑧災害時の手助け』で〔できる〕(「できる」「ときどきできる」の合計)がそれぞれ86.9%、80.7%、70.6%、73.6%、80.4%となっています。

一方で、『③短時間の子どもの預かり』『④外出(買い物や通院など)の手伝い』『⑤庭の手入れや掃除の手伝い』では「できない」がそれぞれ46.6%、34.5%、42.7%と比較的高くなっています。



問 12 あなたが考える「地域」の範囲をお答えください。(ひとつだけ○)

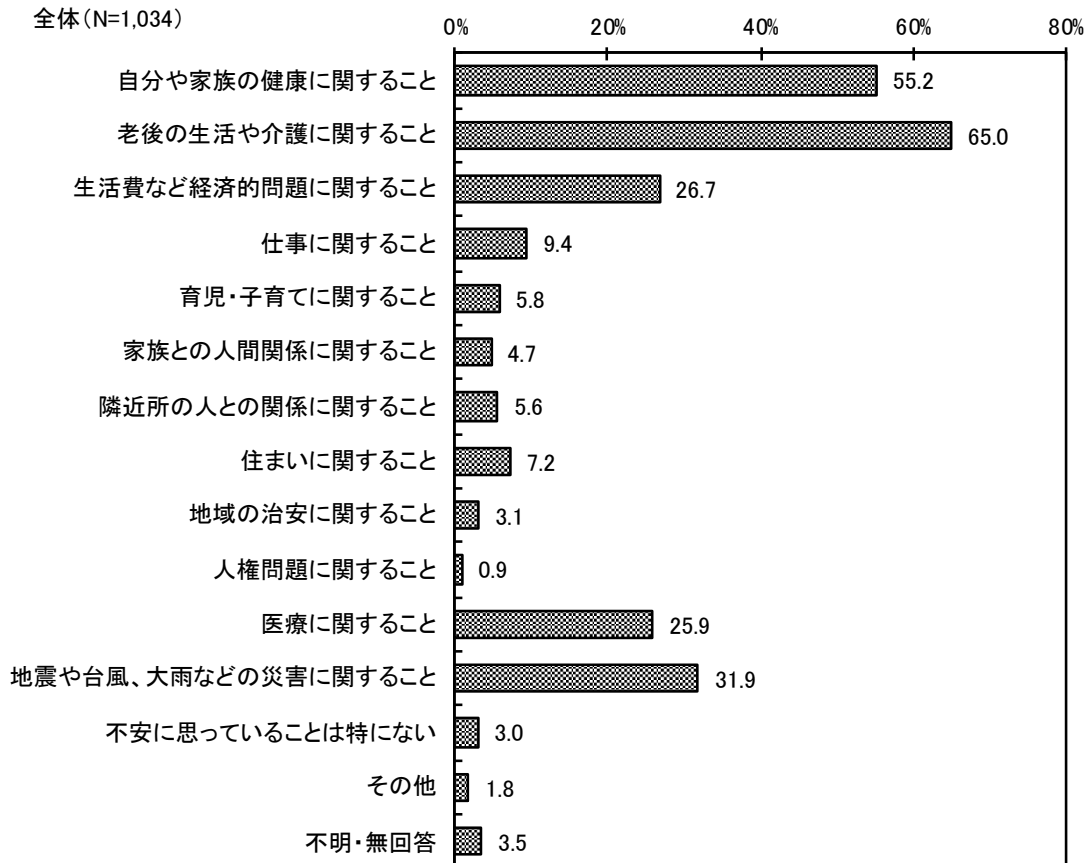
「地域」の範囲に対する考え方については、「自治会」が48.9%と最も高く、次いで「隣近所」が18.3%、「町単位」が7.1%となっています。



## 4. 「日常生活」についておたずねします。

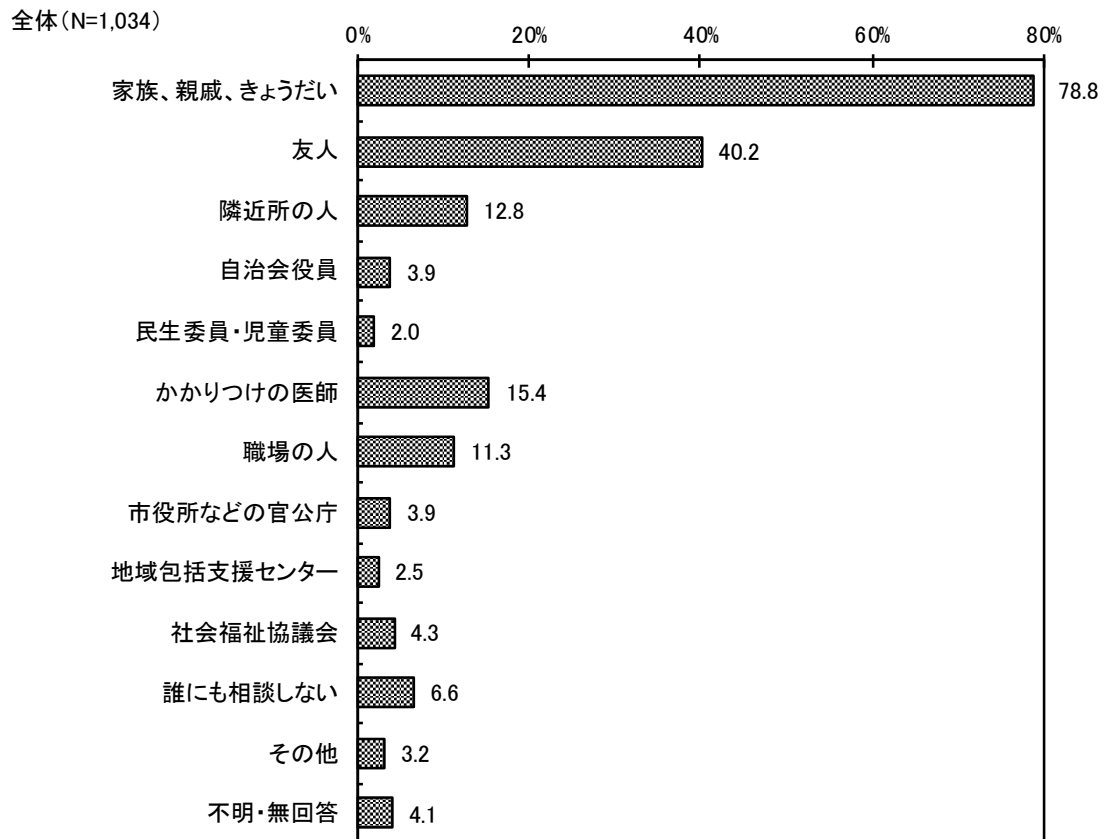
問 13 あなたが普段の生活の中で不安に思っていることは何ですか。  
(〇は3つまで)

普段の生活の中で不安に思っていることについては、「老後の生活や介護に関すること」が65.0%と最も高く、次いで「自分や家族の健康に関すること」が55.2%、「地震や台風、大雨などの災害に関すること」が31.9%となっています。



問 14 あなたは現在、不安や悩みをどなたに、もしくはどこに相談していますか。  
(あてはまるものすべてに○)

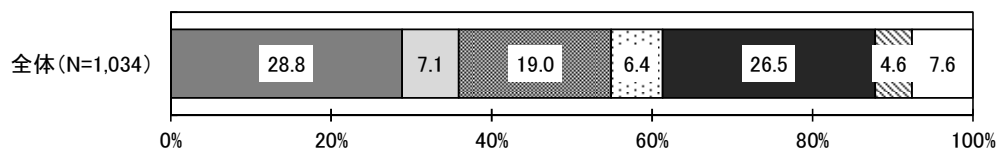
現在の不安や悩みの相談先・相談相手については、「家族、親戚、きょうだい」が78.8%と最も高く、次いで「友人」が40.2%、「かかりつけの医師」が15.4%となっています。



問 15 あなたは日常生活の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのがよいと思いますか。(ひとつだけ○)

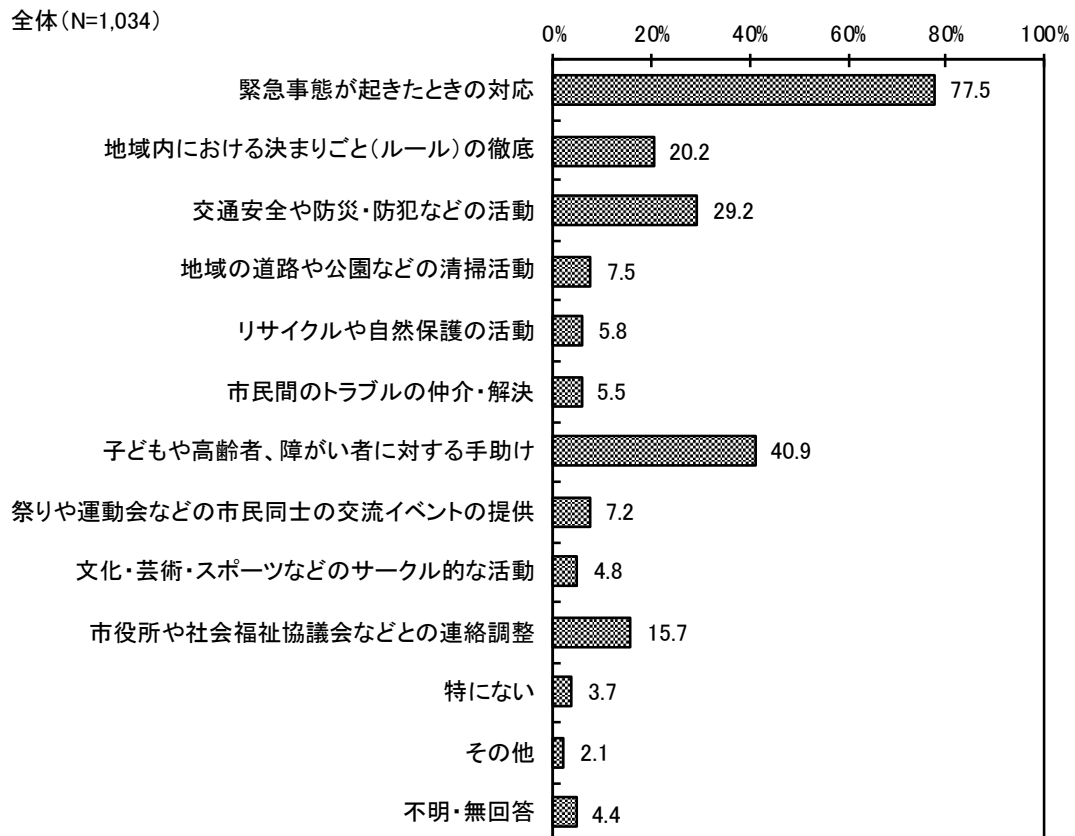
日常生活の問題に対しての解決方法については、「自分たちの生活に関わることだから、できるだけ市民同士で協力して解決したい」が28.8%と最も高く、次いで「市民と行政が相互に協力し、お互いを補完し合って解決したい」が26.5%、「福祉に関わる専門職に相談し解決したい」が19.0%となっています。

- 自分たちの生活に関わることだから、できるだけ市民同士で協力して解決したい
- 地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい
- 福祉に関わる専門職に相談し解決したい
- 行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい
- 市民と行政が相互に協力し、お互いを補完し合って解決したい
- その他
- 不明・無回答



問 16 あなたが住んでいる地域の中で安心して暮らしていくためには、地域にある組織や団体に対してどのような活動を期待していますか。(〇は3つまで)

居住地の中で安心して暮らしていくために、地域の組織や団体に対して期待している活動については、「緊急事態が起きたときの対応」が77.5%と最も高く、次いで「子どもや高齢者、障がい者に対する手助け」が40.9%、「交通安全や防災・防犯などの活動」が29.2%となっています。

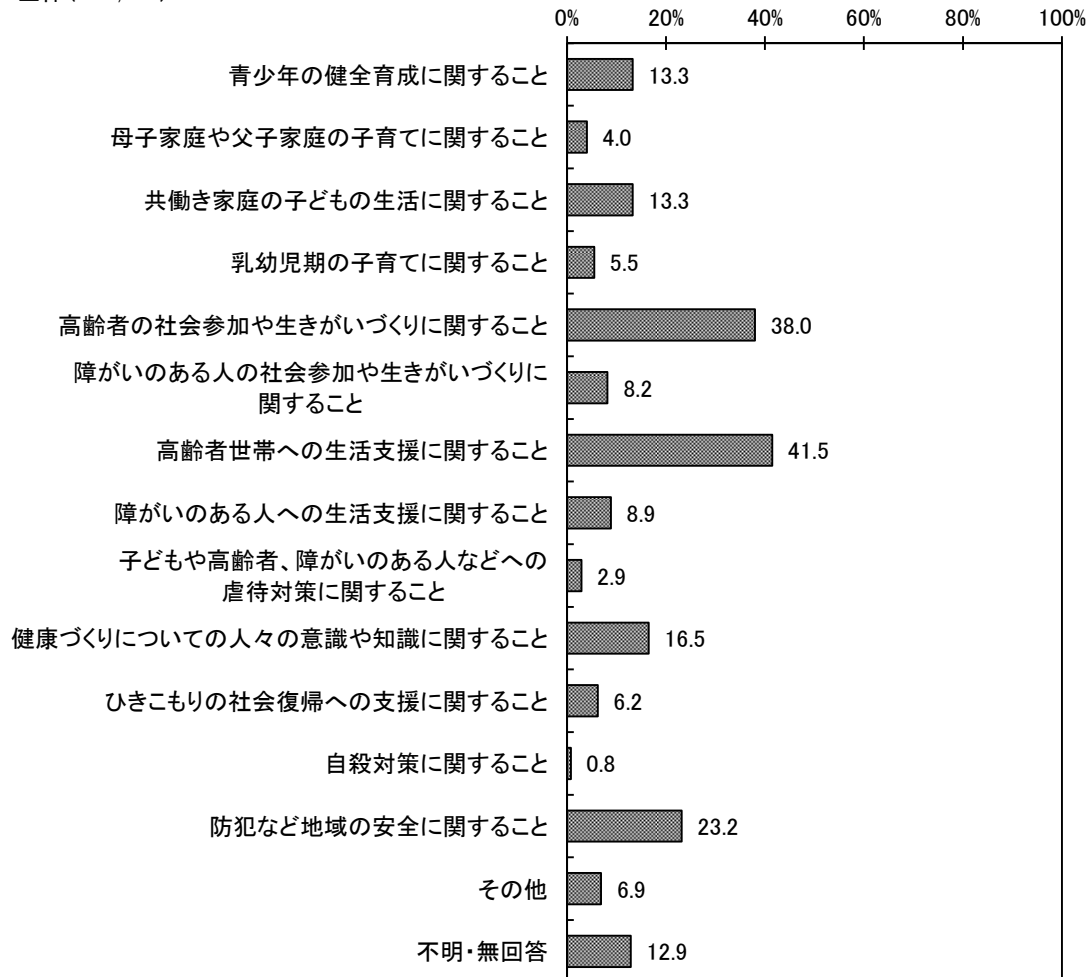




問 17 あなたがお住まいの地域には、どのような課題や問題があると思いますか。  
(ひとつだけ〇)

お住いの地域における課題や問題については、「高齢者世帯への生活支援に関すること」が41.5%と最も高く、次いで「高齢者の社会参加や生きがいつくりに関すること」が38.0%、「防犯など地域の安全に関すること」が23.2%となっています。

全体(N=1,034)

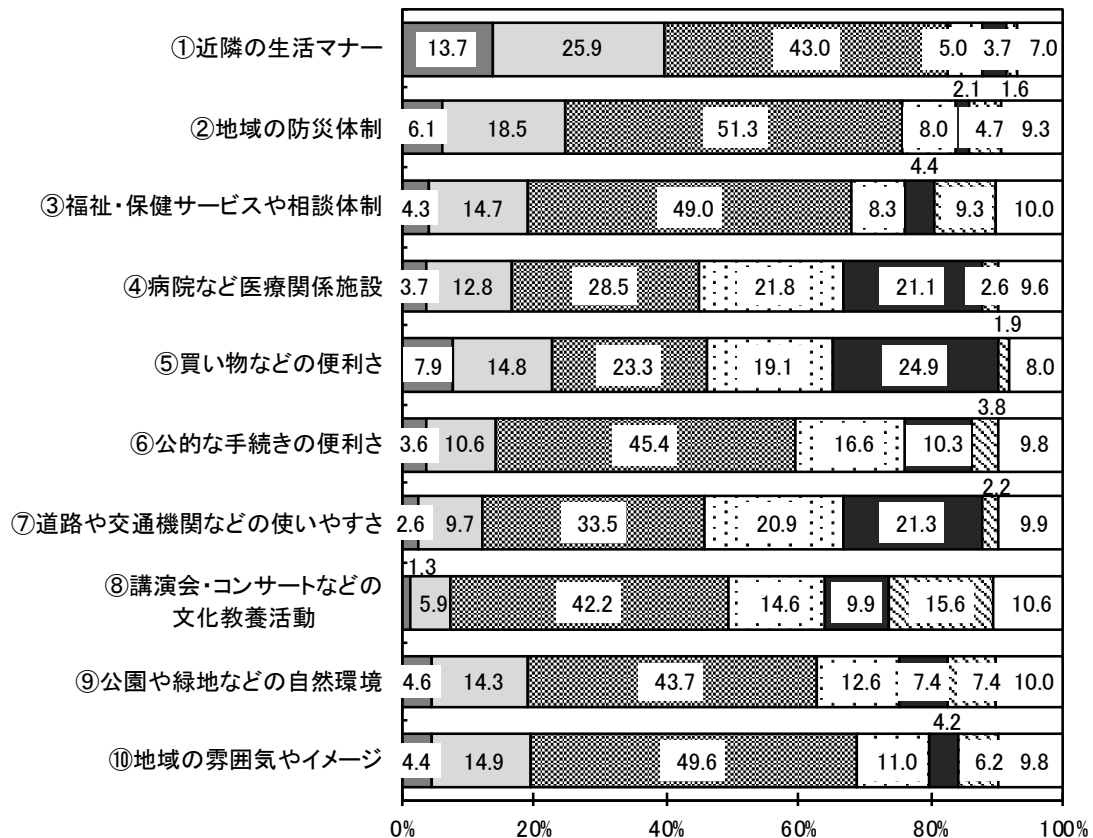


問 18 あなたが現在住んでいる地域の暮らしやすさはいかがですか。

(①～⑩の各項目について、ひとつだけ○)

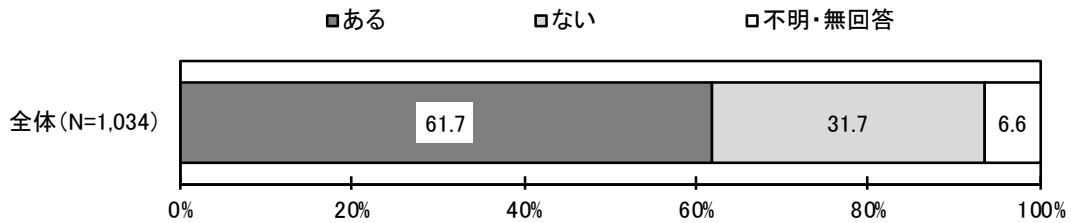
現在の居住地の暮らしやすさについては、『④病院など医療関係施設』『⑤買い物などの便利さ』『⑦道路や交通機関等の使いやすさ』で「不満」（「やや不満」と「不満」の合計）がそれぞれ42.9%、44.0%、42.2%と比較的高くなっています。

全体 (N=1,034)    ■満足 □まあ満足 ▨普通 □やや不満 ■不満 □わからない □不明・無回答



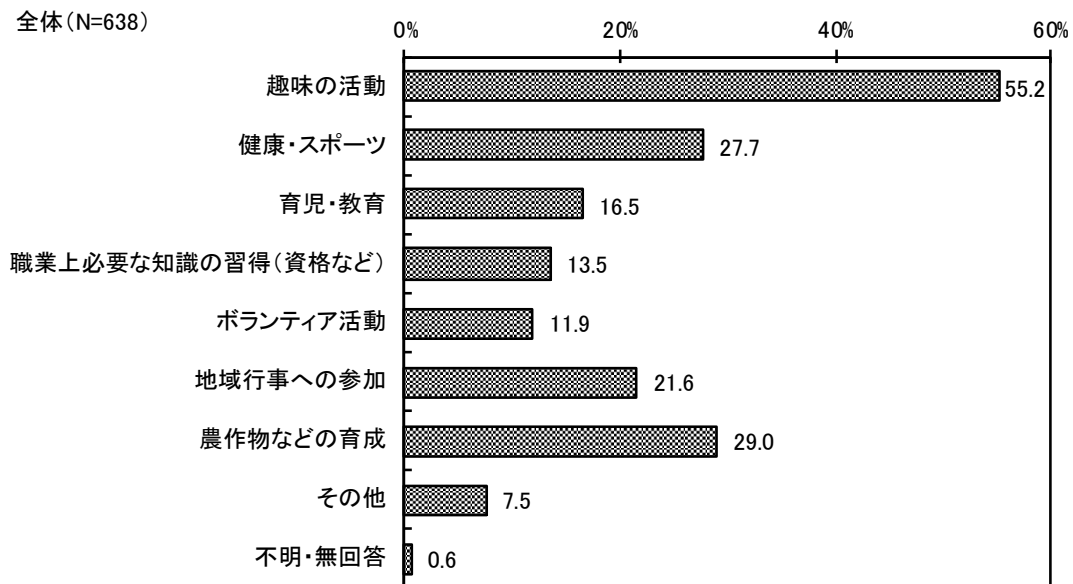
問 19 あなたは日常の生活において、生きがいを感じる時がありますか。  
 (ひとつだけ○)

日常生活において、生きがいを感じる時があるかについては、「ある」が61.7%、「ない」が31.7%となっています。



問 19- (1) 問 19 で「ある」を選ばれた方  
 生きがいを感じるのはどのようなときですか。(○は3つまで)

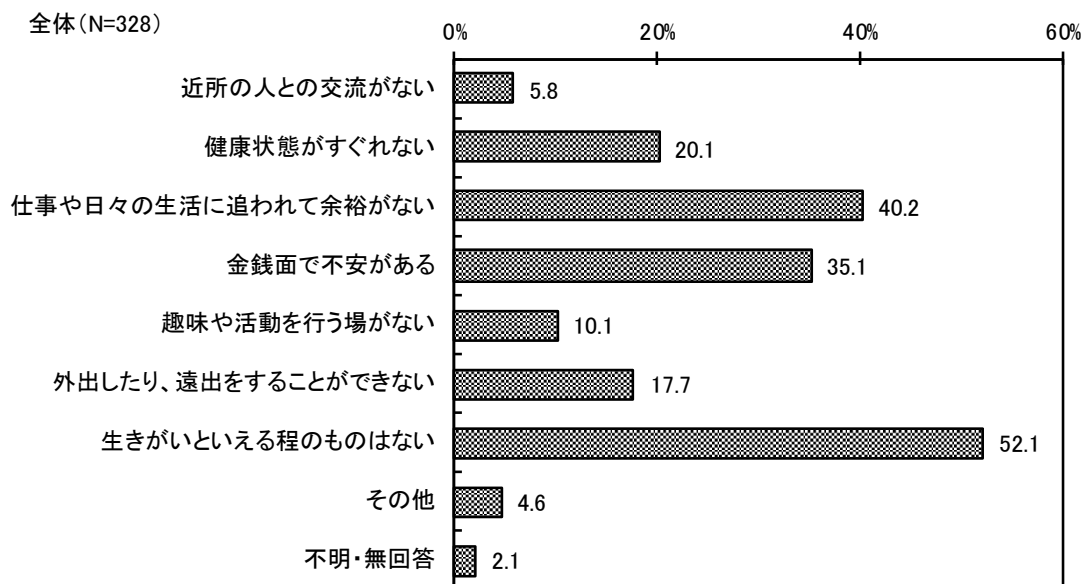
どのようなときに生きがいを感じるかについては、「趣味の活動」が55.2%と最も高く、次いで「農作物などの育成」が29.0%、「健康・スポーツ」が27.7%となっています。



問19- (2) 問19で「ない」を選ばれた方

生きがいを感じない理由は何ですか。(〇は3つまで)

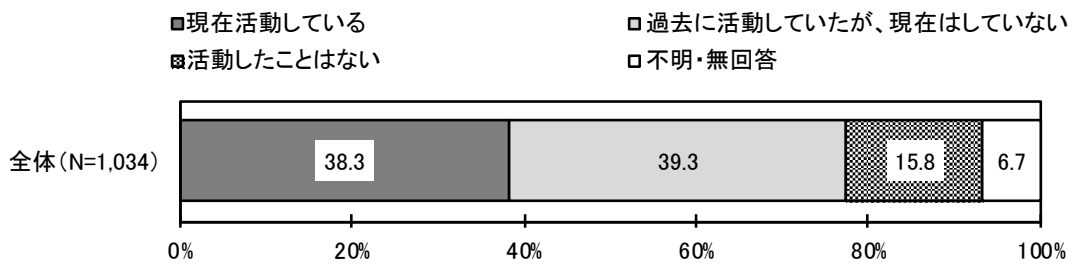
生きがいを感じない理由については、「生きがいといえる程のものはない」が52.1%と最も高く、次いで「仕事や日々の生活に追われて余裕がない」が40.2%、「金銭面で不安がある」が35.1%となっています。



## 5. 「地域活動」についておたずねします。

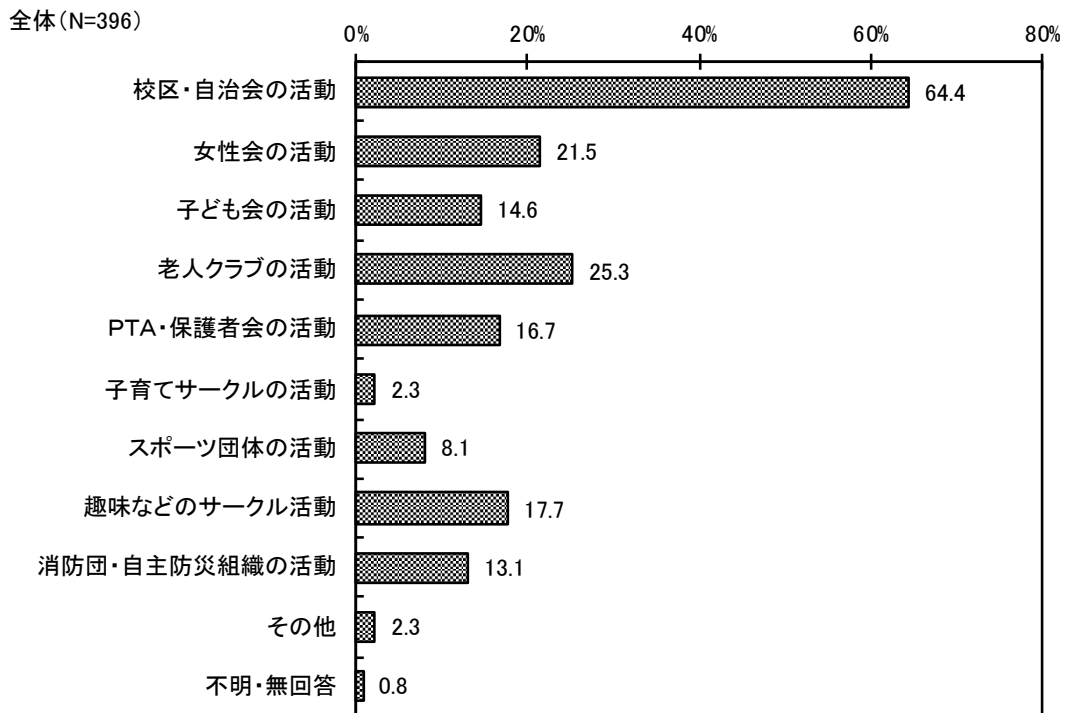
問 20 あなたは、自治会やPTA活動などの地域活動をしたことがありますか。  
(ひとつだけ○)

自治会やPTA活動などの地域活動経験については、「過去に活動していたが、現在はしていない」が39.3%で最も高く、次いで「現在活動している」が38.3%、「活動したことはない」が15.8%となっています。



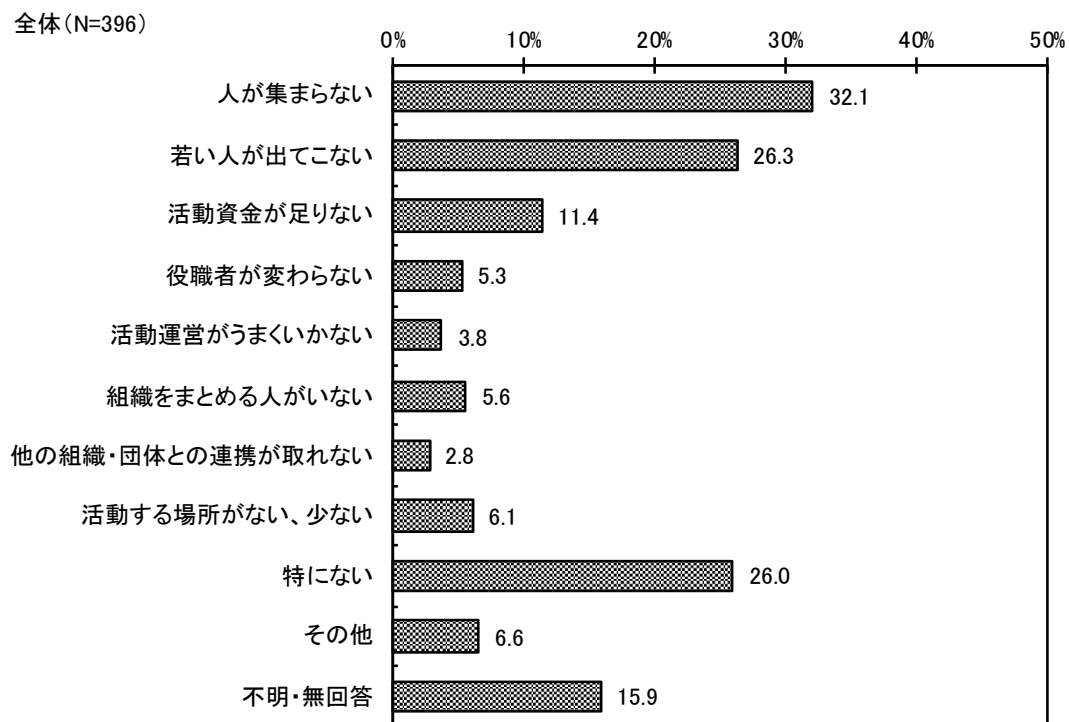
問 20- (1) 問 20 で「現在活動している」を選ばれた方  
主にどのような地域活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

主な地域活動内容については、「校区・自治会の活動」が64.4%と最も高く、次いで「老人クラブの活動」が25.3%、「女性会の活動」が21.5%となっています。



問 20— (2) 問 20 で「現在活動している」を選ばれた方  
 地域活動の中で困ったこと、苦労したことがありますか。  
 (〇は3つまで)

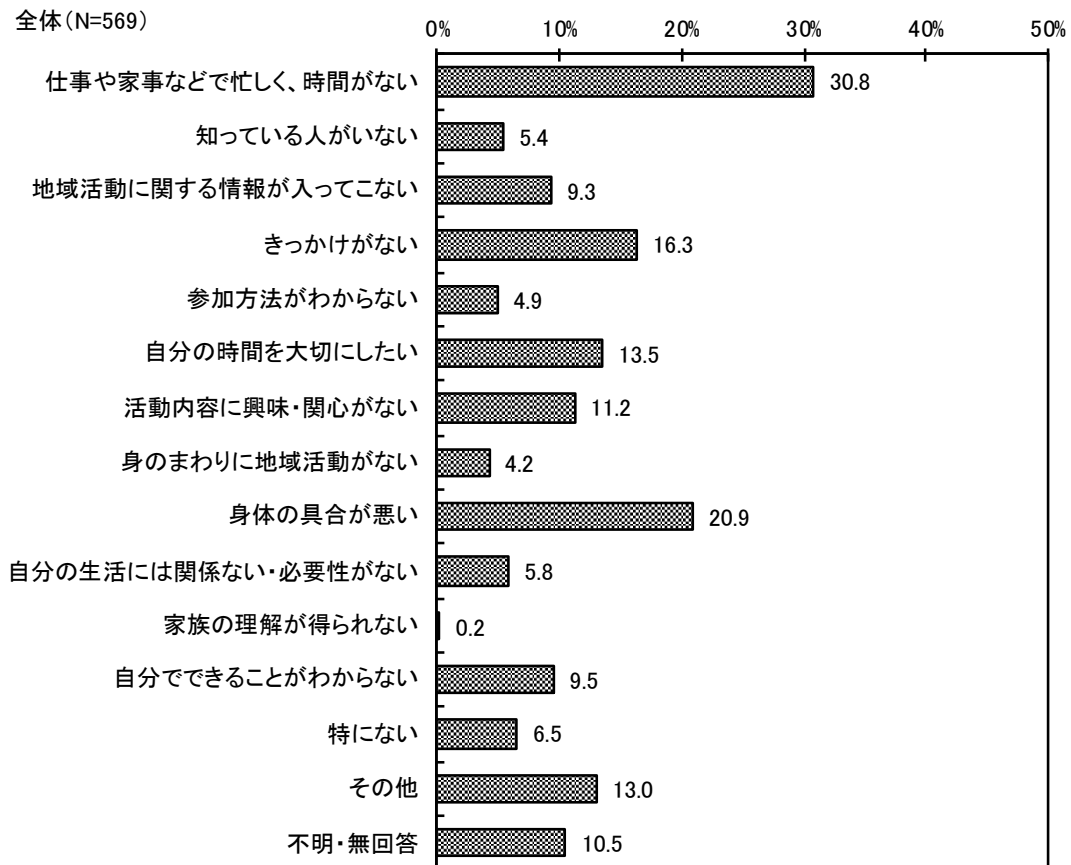
地域活動の中で困ったこと、苦労したことについては、「人が集まらない」が32.1%と最も高く、次いで「若い人が出てこない」が26.3%、「特にない」が26.0%となっています。



問 20— (3) 問 20 で「過去に活動していたが、現在はしていない」または「活動したことはない」を選ばれた方

地域活動を現在していない理由は何ですか。(〇は3つまで)

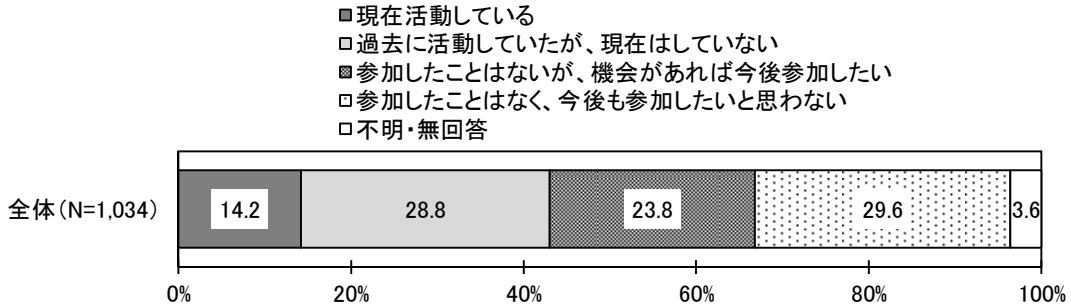
地域活動を現在していない理由については、「仕事や家事などで忙しく、時間がない」が30.8%と最も高く、次いで「身体の具合が悪い」が20.9%、「きっかけがない」が16.3%となっています。



## 6. 「ボランティア活動」についておたずねします。

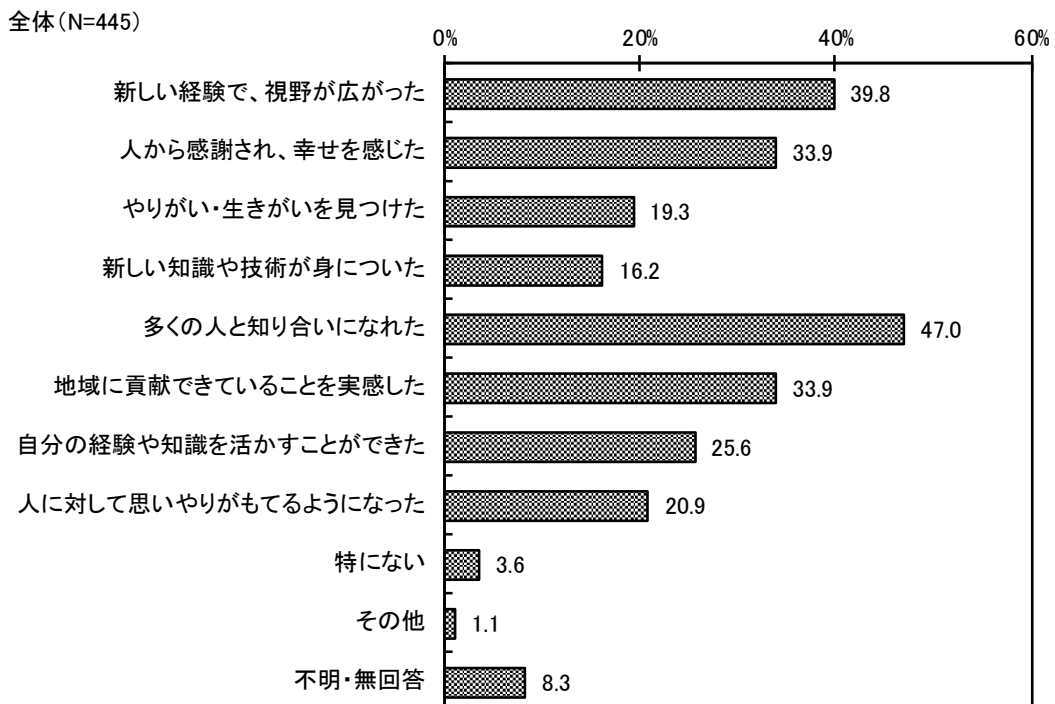
### 問 21 ボランティア活動に参加したことがありますか。(ひとつだけ○)

ボランティア活動経験の有無については、「参加したことはなく、今後も参加したいと思わない」が29.6%と最も高く、次いで「過去に活動していたが、現在はしていない」が28.8%、「参加したことはないが、機会があれば今後参加したい」が23.8%となっています。



### 問 21- (1) 問 21 で「現在活動している」または「過去に活動していたが、現在はしていない」を選ばれた方 あなたが、ボランティア活動に参加してよかったと思う点は何ですか。 (あてはまるものすべてに○)

ボランティア活動に参加してよかったと思う点については、「多くの人と知り合いになれた」が47.0%と最も高く、次いで「新しい経験で、視野が広がった」が39.8%、「人から感謝され、幸せを感じた」「地域に貢献できていることを実感した」が同じく33.9%となっています。





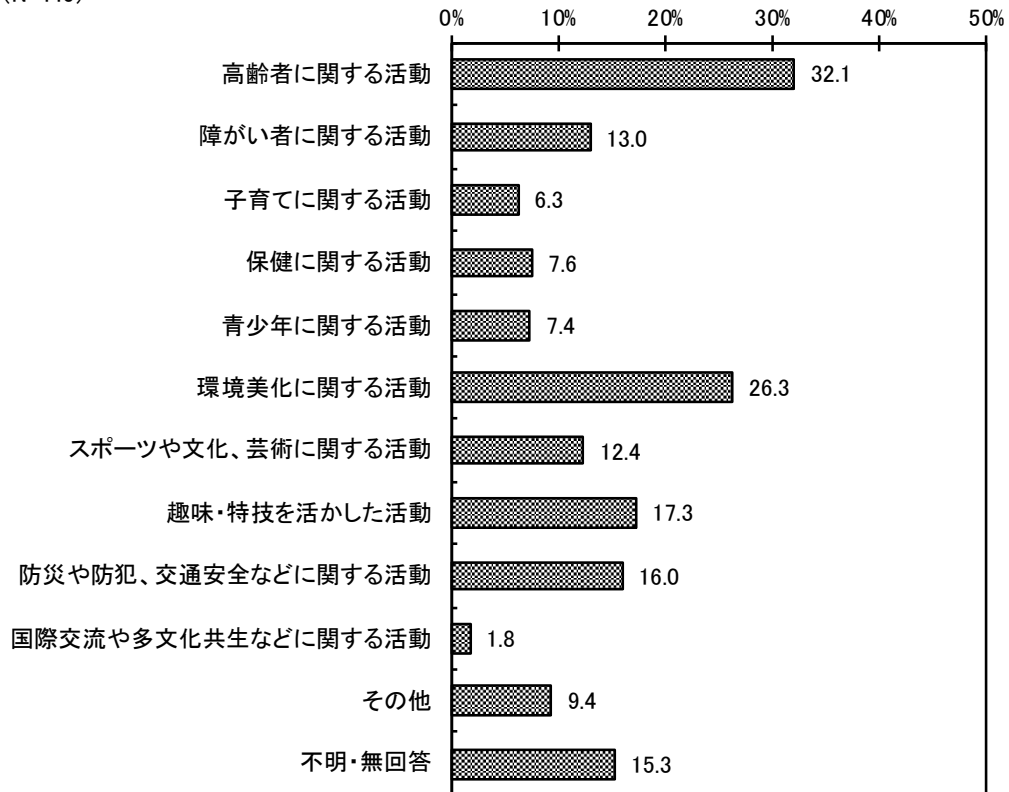
問 21－（2）① 問 21 で「現在活動している」または「過去に活動していたが、現在はしていない」を選ばれた方

あなたは、どのようなボランティア活動をされました（しています）か。

（あてはまるものすべてに○）

参加したボランティア活動については、「高齢者に関する活動」が32.1%と最も高く、次いで「環境美化に関する活動」が26.3%、「趣味・特技を活かした活動」が17.3%となっています。

全体 (N=445)

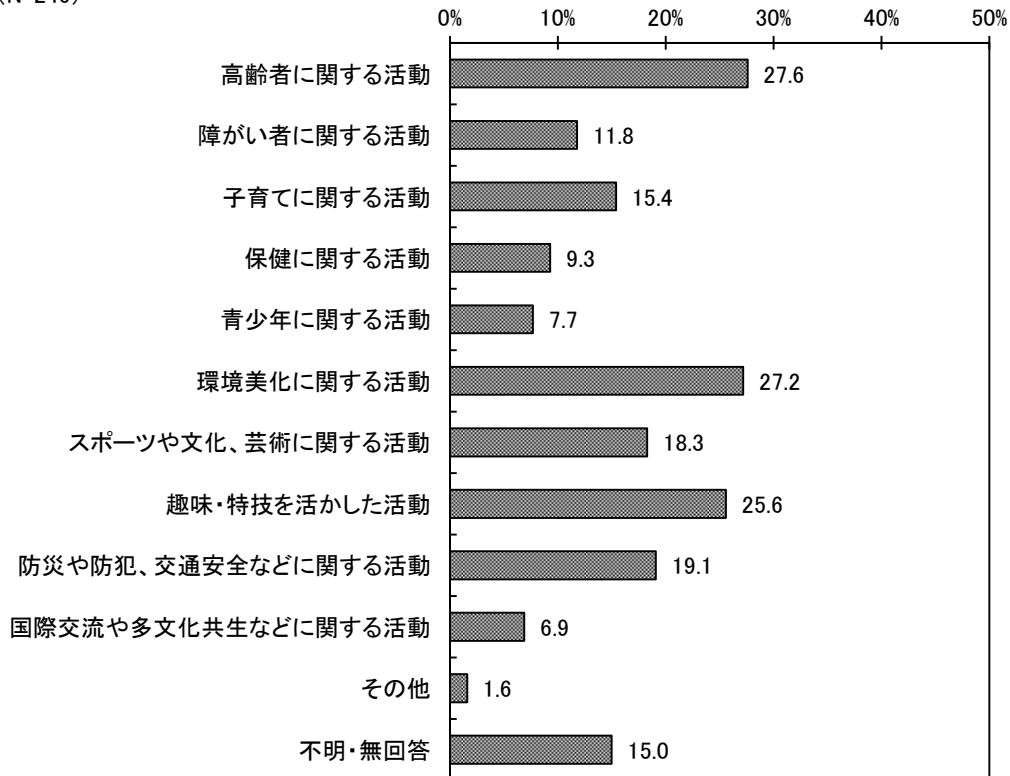


問 21－（２）② 問 21 で「参加したことはないが、機会があれば今後参加したい」を選ばれた方

あなたは、今後ボランティア活動を行うとしたら、どのような活動に参加したいですか。（あてはまるものすべてに○）

今後参加したいボランティア活動については、「高齢者に関する活動」が 27.6%と最も高く、次いで「環境美化に関する活動」が 27.2%、「趣味・特技を活かした活動」が 25.6%となっています。

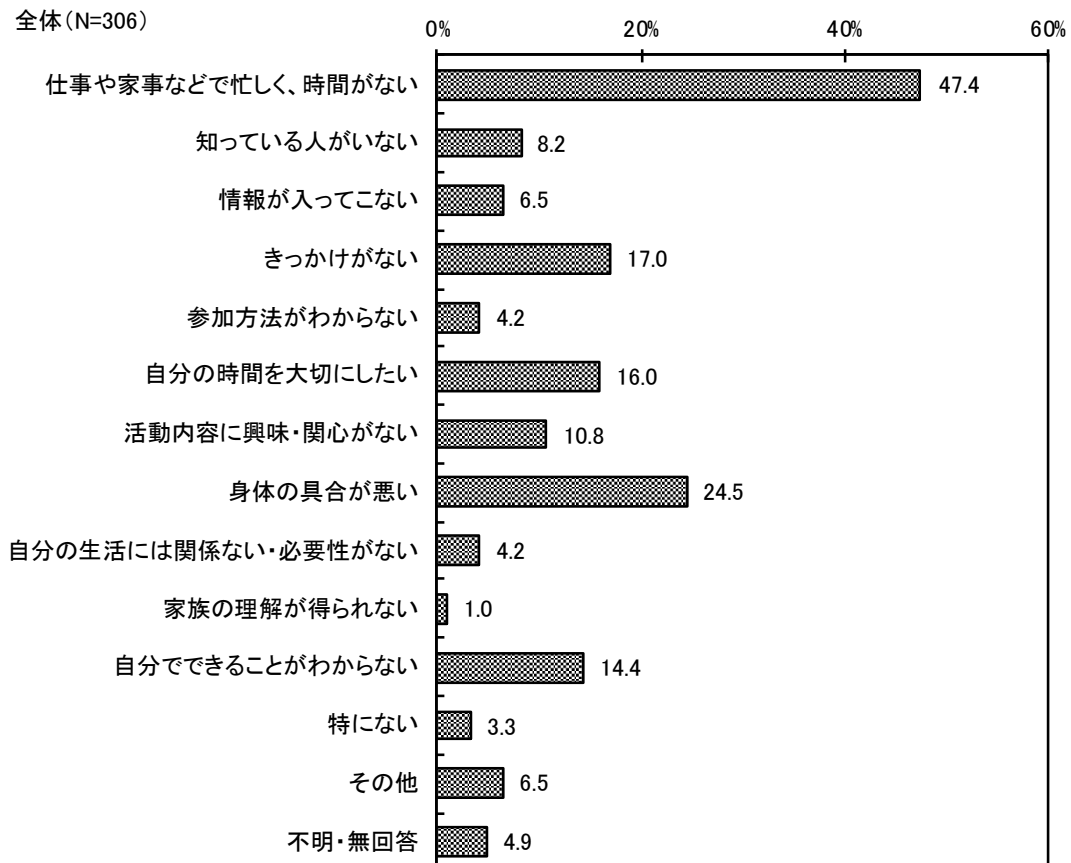
全体(N=246)



問 21－（3） 問 21 で「参加したことはなく、今後も参加したいと思わない」を選ばれた方

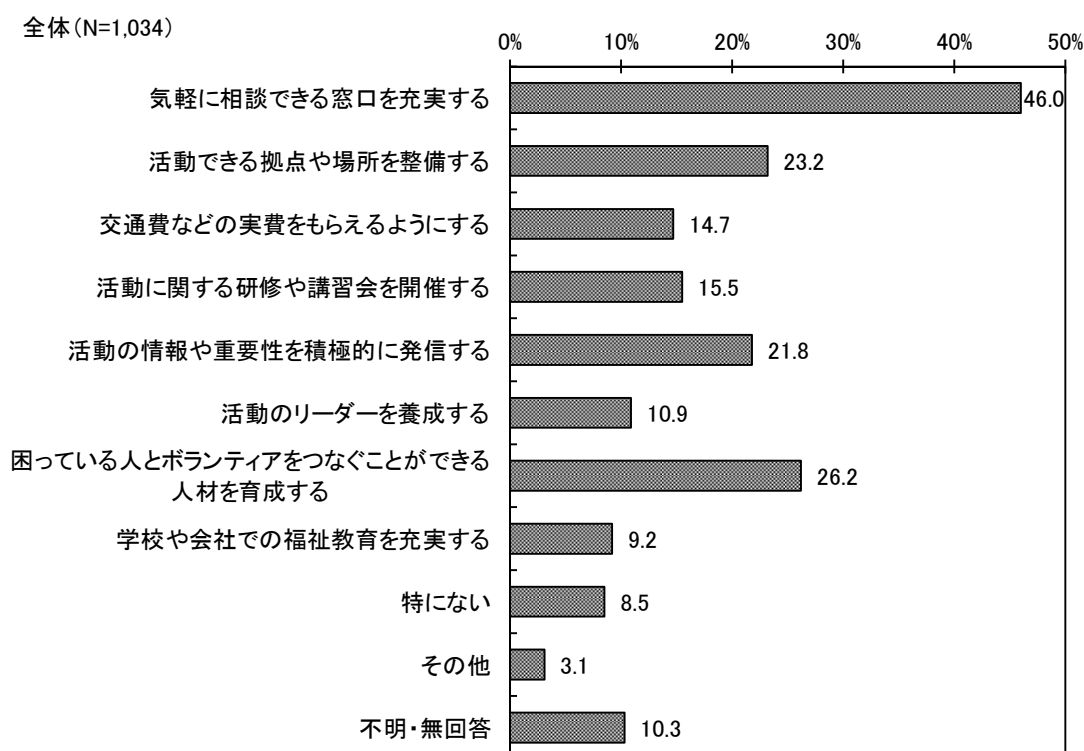
ボランティア活動ができないと思う理由は何ですか。（〇は3つまで）

ボランティア活動をしたくないと思う理由については、「仕事や家事などで忙しく、時間がない」が47.4%と最も高く、次いで「身体の具合が悪い」が24.5%、「きっかけがない」が17.0%となっています。



問 22 今後、ボランティア活動の輪を広げていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

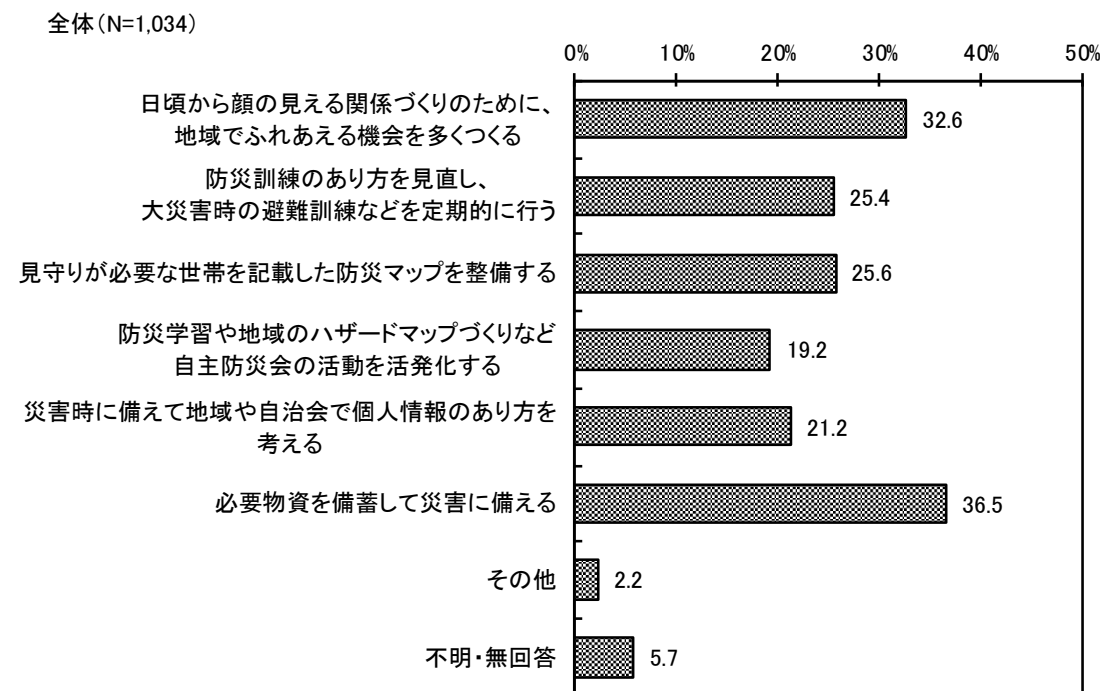
今後、ボランティア活動の輪を広げていくために必要だと思うことについては、「気軽に相談できる窓口を充実する」が46.0%と最も高く、次いで「困っている人とボランティアをつなぐことができる人材を育成する」が26.2%、「活動できる拠点や場所を整備する」が23.2%となっています。



## 7. 「災害時に関すること」についておたずねします。

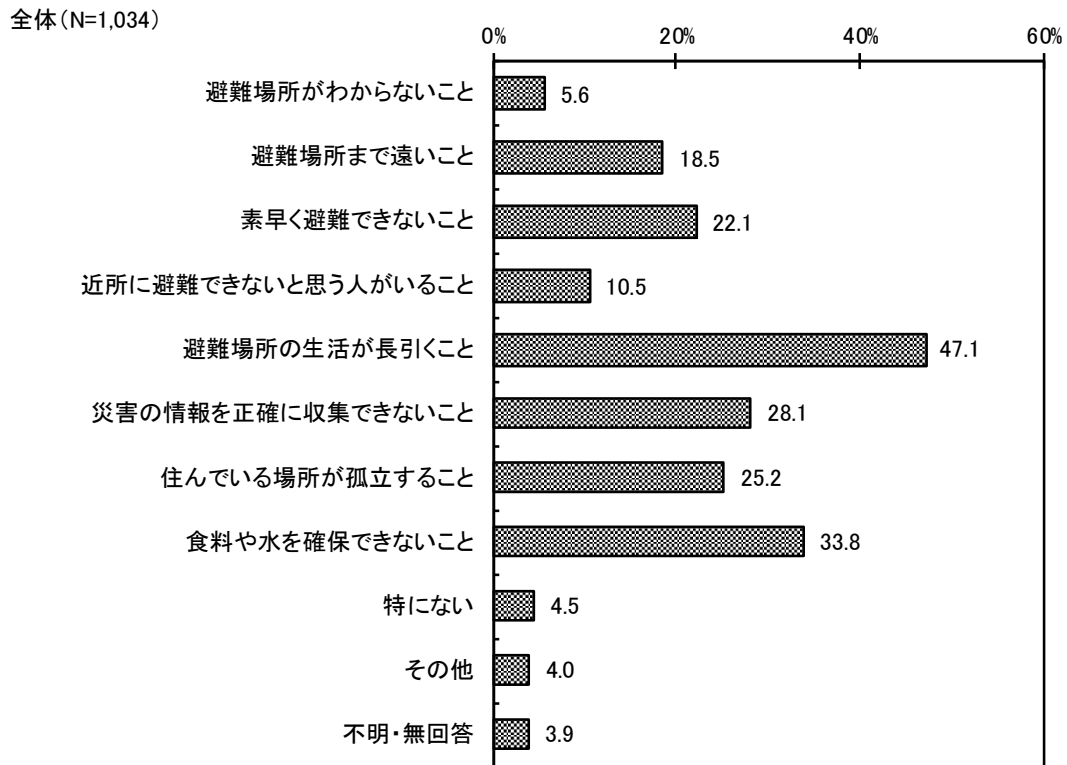
問 23 近年、大災害が多発しています。大災害に備えて日頃から地域でどんなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

大災害に備えて日頃から地域で必要だと思うことについては、「必要物資を備蓄して災害に備える」が36.5%と最も高く、次いで「日頃から顔の見える関係づくりのために、地域でふれあえる機会を多くつくる」が32.6%、「見守りが必要な世帯を記載した防災マップを整備する」が25.6%となっています。



問 24 あなたは、宍粟市で大災害（地震や台風、土砂災害など）が起こった時に、  
どのようなことが不安ですか。（○は3つまで）

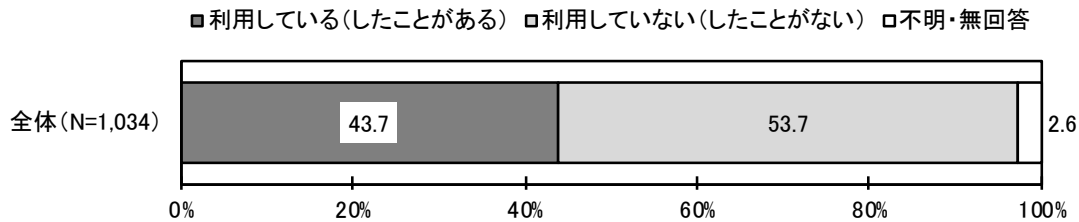
宍粟市に大きな災害が起こった時に不安なことについては、「避難場所の生活が長引くこと」が47.1%と最も高く、次いで「食料や水を確保できないこと」が33.8%、「災害の情報を正確に収集できないこと」が28.1%となっています。



## 8. 「福祉サービス」についておたずねします。

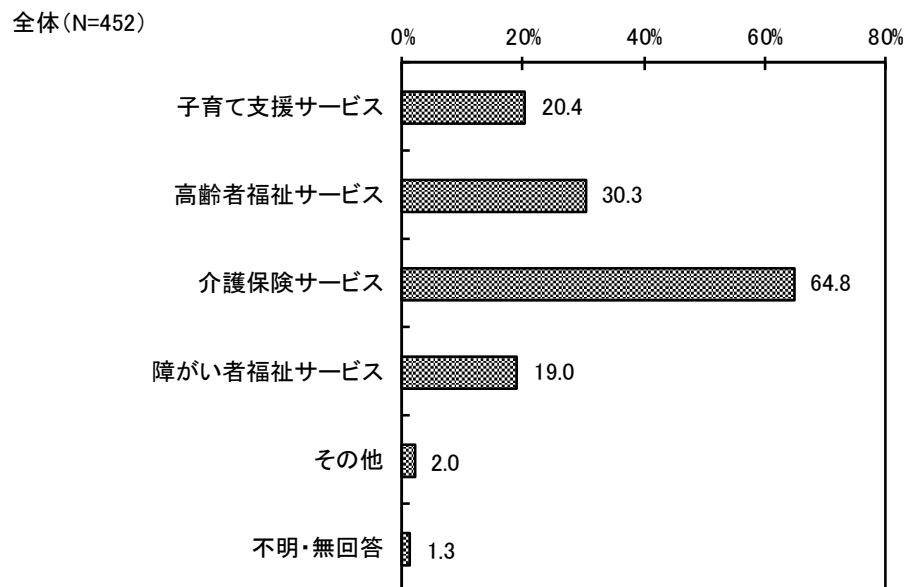
問 25 あなたやあなたの家族の中で、福祉サービスを利用している（したことがある）方はいますか。（ひとつだけ○）

福祉サービスの利用の有無については、「利用している（したことがある）」が43.7%、「利用していない（したことがない）」が53.7%となっています。



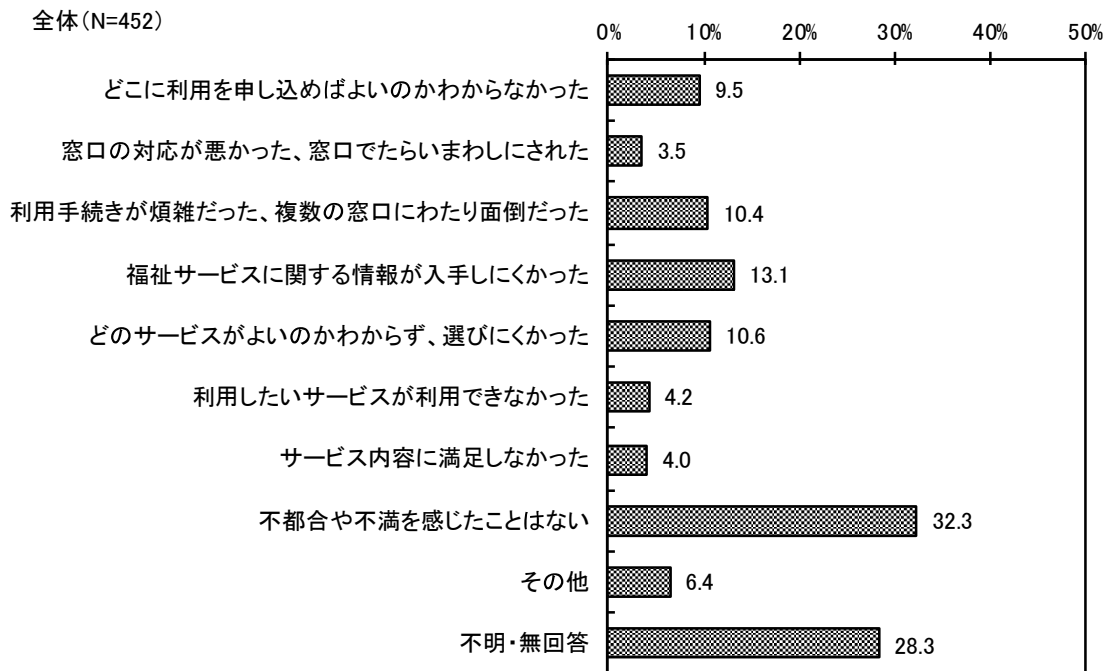
問 25- (1) 問 25 で「利用している（したことがある）」を選ばれた方  
利用した福祉サービスの種類は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

利用した福祉サービスの種類については、「介護保険サービス」が64.8%と最も高く、次いで「高齢者福祉サービス」が30.3%、「子育て支援サービス」が20.4%となっています。



問 25－（２） 問 25 で「利用している（したことがある）」を選ばれた方  
 福祉サービスの利用に関して、これまでに不都合・不満を感じたの  
 はどのようなことですか。（〇は3つまで）

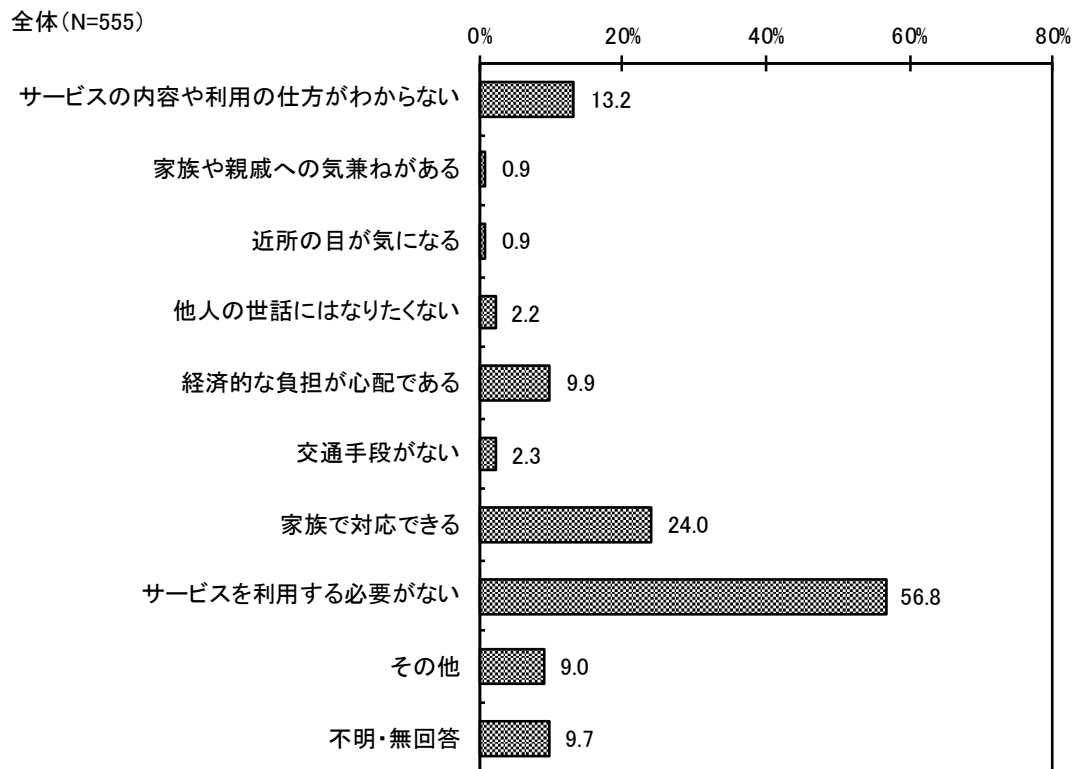
福祉サービスの利用に関して、不都合・不満を感じたことについては、「不都合や不満を感じたことはない」が32.3%と最も高く、次いで「福祉サービスに関する情報が入手しにくかった」が13.1%、「どのサービスがよいのかわからず、選びにくかった」が10.6%となっています。





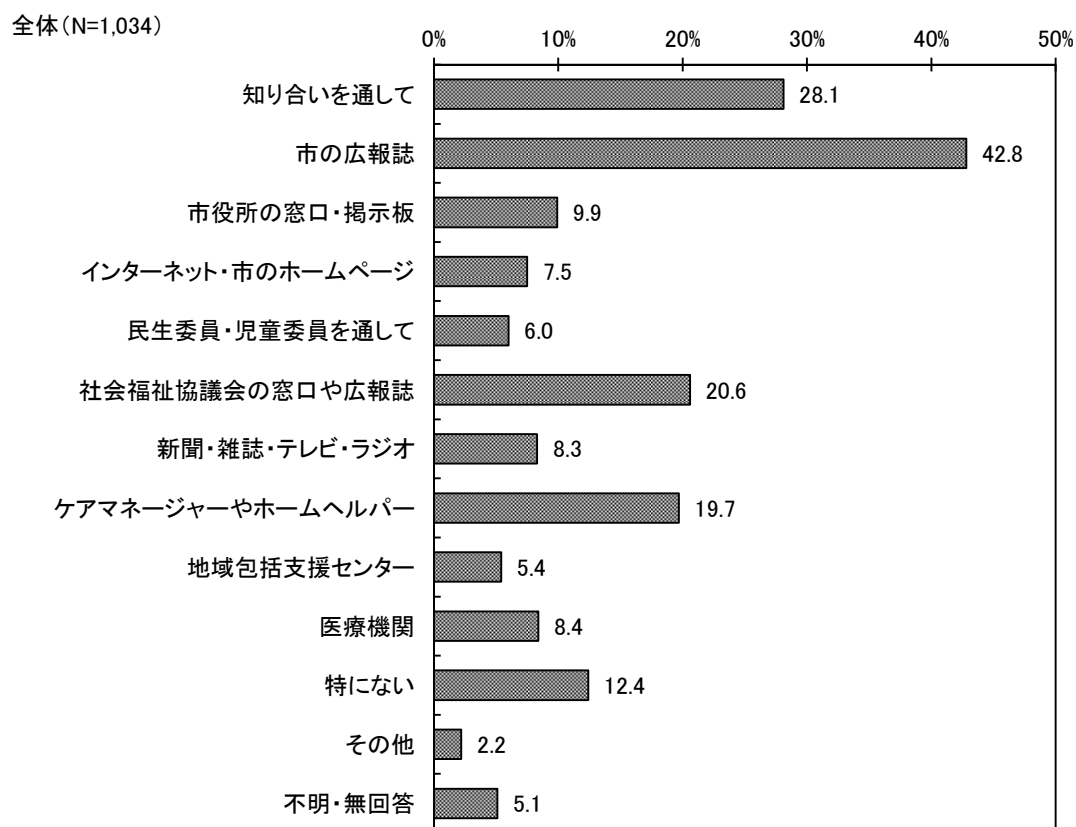
問 25－（3） 問 25 で「利用していない（したことがない）」を選ばれた方  
あなたやあなたの家族が福祉サービスを利用しない理由は何です  
か。（〇は3つまで）

福祉サービスを利用しない理由については、「サービスを利用する必要がない」が 56.8%と最も高く、次いで「家族で対応できる」が 24.0%、「サービスの内容や利用の仕方がわからない」が 13.2%となっています。



問 26 あなたは、「福祉サービス」に関する情報を主にどこから入手していますか。  
(○は3つまで)

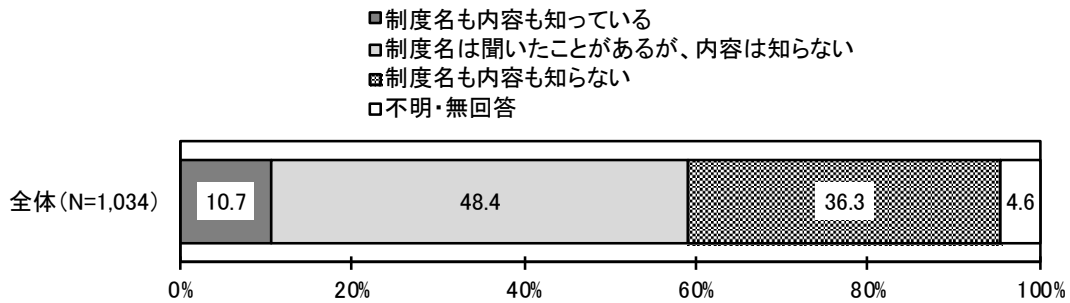
「福祉サービス」に関する情報の主な入手先については、「市の広報誌」が42.8%と最も高く、次いで「知り合いを通して」が28.1%、「社会福祉協議会の窓口や広報誌」が20.6%となっています。



## 9. 「生活困窮者の支援」についておたずねします。

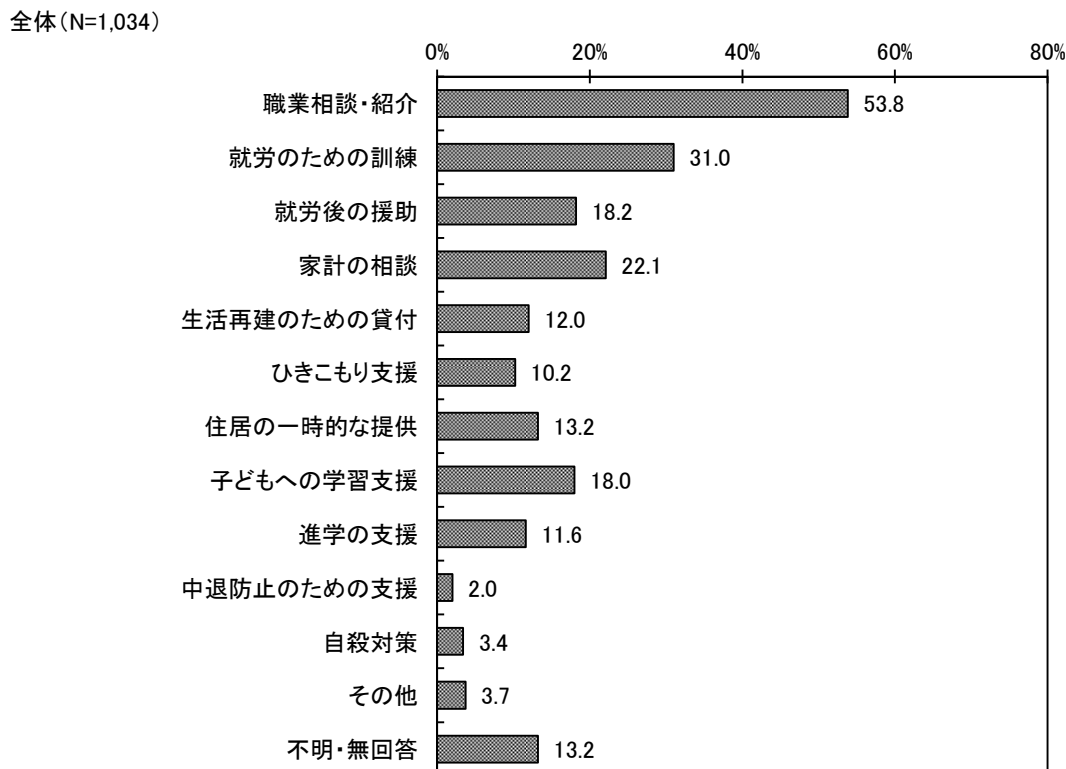
問 27 あなたは「生活困窮者自立支援制度」を知っていますか。(ひとつだけ○)

生活困窮者自立支援制度の認知度については、「制度名は聞いたことがあるが、内容は知らない」が48.4%と最も高く、次いで「制度名も内容も知らない」が36.3%、「制度名も内容も知っている」が10.7%となっています。



問 28 生活困窮の問題や支援制度について、あなた自身は具体的にどのような支援が最も必要だと思いますか。(○は3つまで)

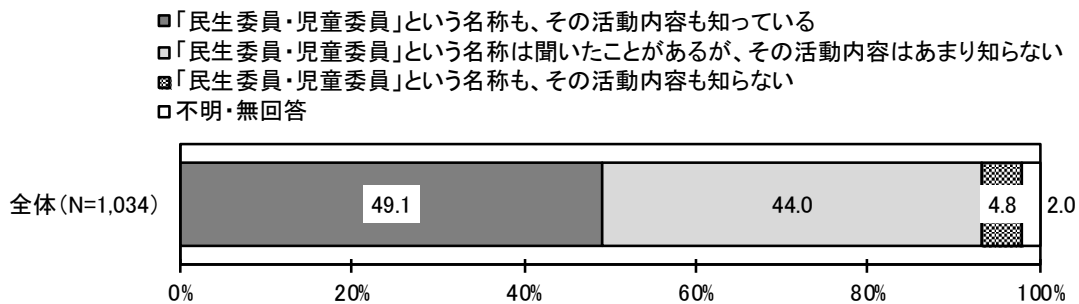
生活困窮の問題や支援制度について必要と思う支援は、「職業相談・紹介」が53.8%と最も高く、次いで「就労のための訓練」が31.0%、「家計の相談」が22.1%となっています。



## 10. 「地域福祉に関わる団体等」についておたずねします。

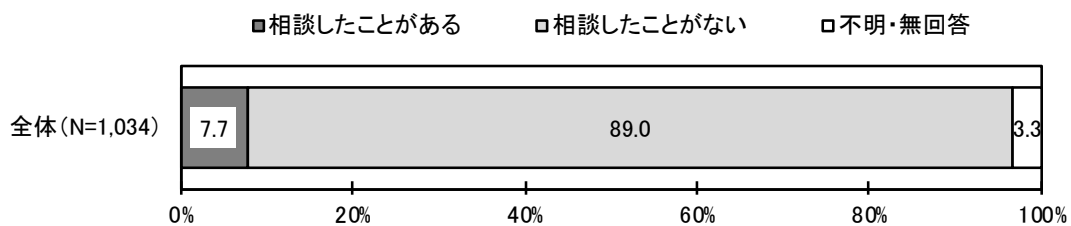
問 29 あなたは、住んでいる地域を担当している民生委員・児童委員を知っていますか。(ひとつだけ○)

居住地域を担当している民生委員・児童委員の認知度については、「『民生委員・児童委員』という名称も、その活動内容も知っている」が49.1%と最も高く、次いで「『民生委員・児童委員』という名称は聞いたことがあるが、その活動内容はあまり知らない」が44.0%、「『民生委員・児童委員』という名称も、その活動内容も知らない」が4.8%となっています。



問 30 あなたは、住んでいる地域を担当している民生委員・児童委員に相談したことがありますか。(ひとつだけ○)

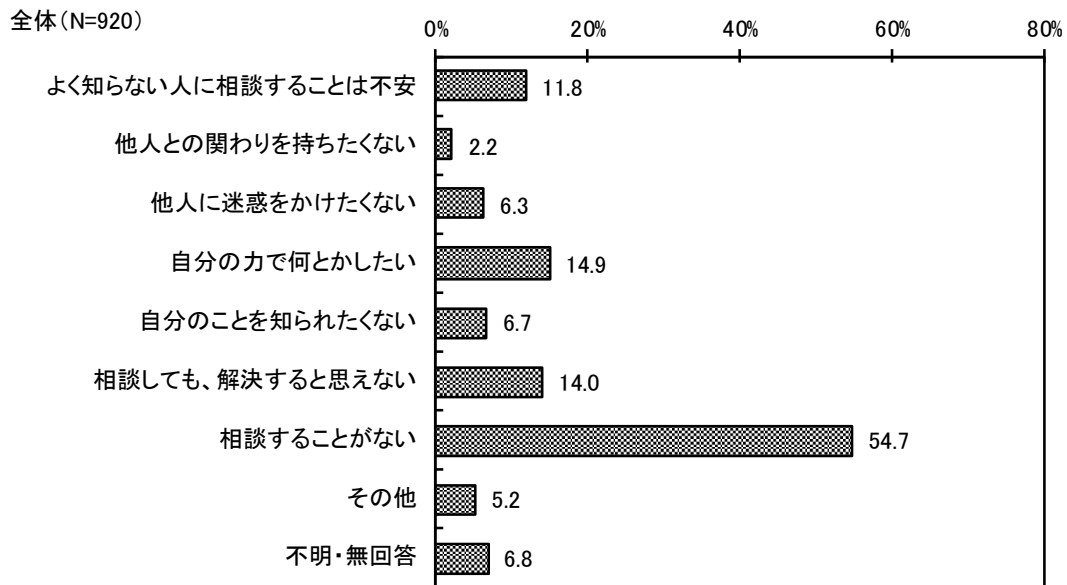
居住地域を担当している民生委員・児童委員に相談したことがあるかについては、「相談したことがある」が7.7%、「相談したことがない」が89.0%となっています。



問 30— (1) 問 30 で「相談したことがない」を選ばれた方

相談したことがない理由は何ですか。(〇は3つまで)

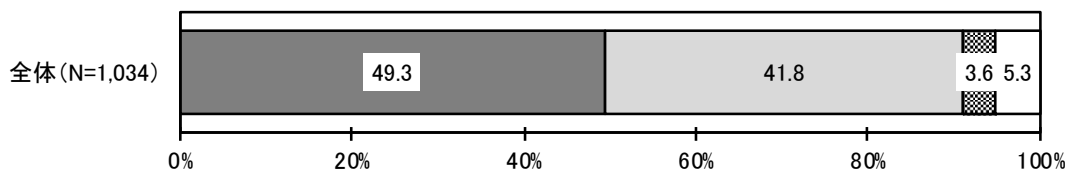
相談したことがない理由については、「相談することがない」が54.7%と最も高く、次いで「自分の力で何とかしたい」が14.9%、「相談しても、解決すると思えない」が14.0%となっています。



問 31 あなたは、「社会福祉協議会（社協）」を知っていますか。(ひとつだけ〇)

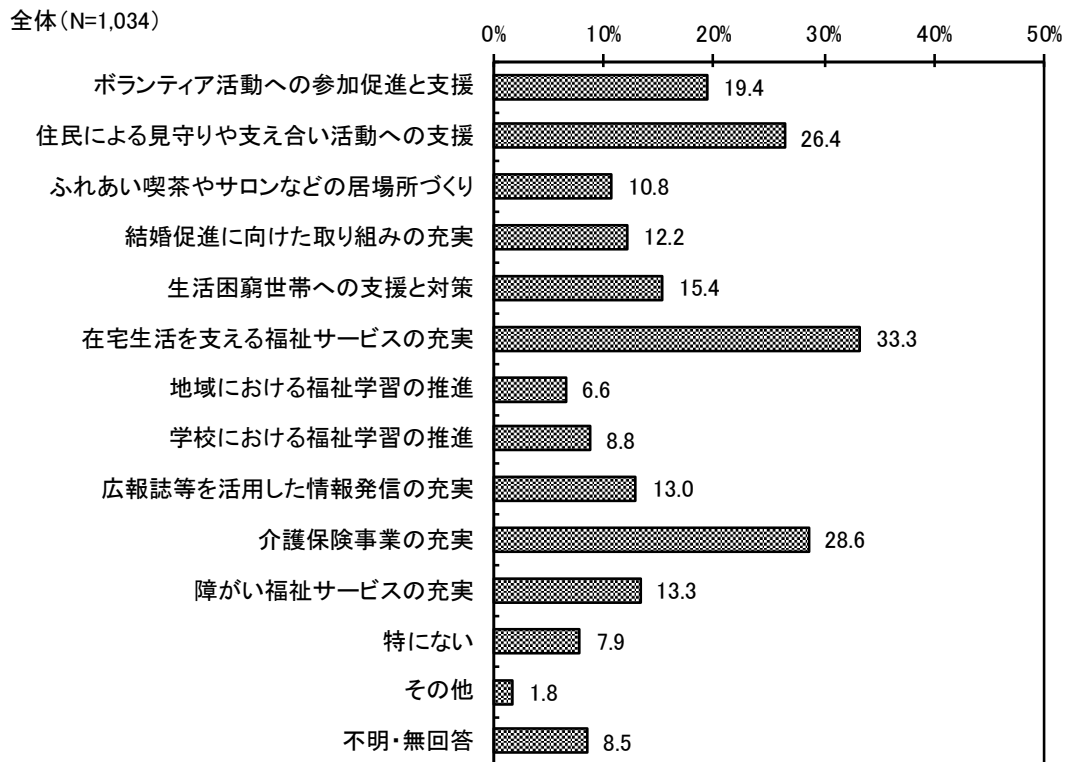
社会福祉協議会の認知度については、「『社会福祉協議会（社協）』という名称も、その活動内容も知っている」が49.3%と最も高く、次いで「『社会福祉協議会（社協）』という名称は聞いたことがあるが、その活動内容はあまり知らない」が41.8%、「『社会福祉協議会（社協）』という名称も、その活動内容も知らない」が3.6%となっています。

- 「社会福祉協議会（社協）」という名称も、その活動内容も知っている
- 「社会福祉協議会（社協）」という名称は聞いたことがあるが、その活動内容はあまり知らない
- ▨「社会福祉協議会（社協）」という名称も、その活動内容も知らない
- 不明・無回答



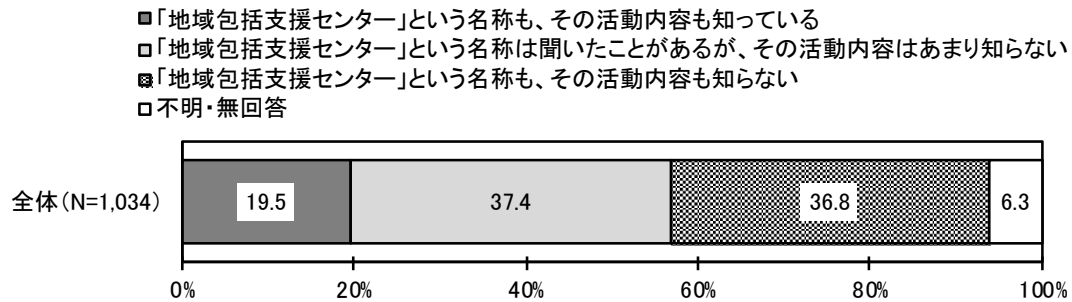
問 32 社会福祉協議会が行う活動・支援として、今後、充実してほしいものはどれですか。(〇は3つまで)

社会福祉協議会が行う活動・支援として、今後充実してほしいものについては、「在宅生活を支える福祉サービスの充実」が33.3%と最も高く、次いで「介護保険事業の充実」が28.6%、「住民による見守りや支え合い活動への支援」が26.4%となっています。



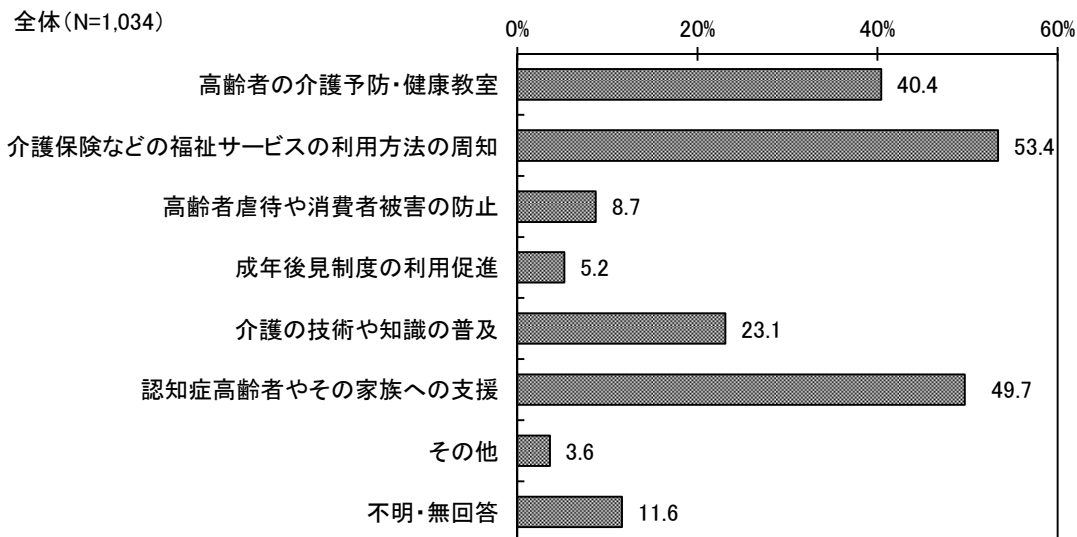
問 33 あなたは、「地域包括支援センター」を知っていますか。(ひとつだけ○)

地域包括支援センターの認知度については、「『地域包括支援センター』という名称は聞いたことがあるが、その活動内容はあまり知らない」が37.4%と最も高く、次いで「『地域包括支援センター』という名称も、その活動内容も知らない」が36.8%、「『地域包括支援センター』という名称も、その活動内容も知っている」が19.5%となっています。



問 34 地域包括支援センターが行う活動・支援として、今後、充実してほしいものはどれですか。(○は3つまで)

地域包括支援センターが行う活動・支援として、今後充実してほしいものについては、「介護保険などの福祉サービスの利用方法の周知」が53.4%と最も高く、次いで「認知症高齢者やその家族への支援」が49.7%、「高齢者の介護予防・健康教室」が40.4%となっています。

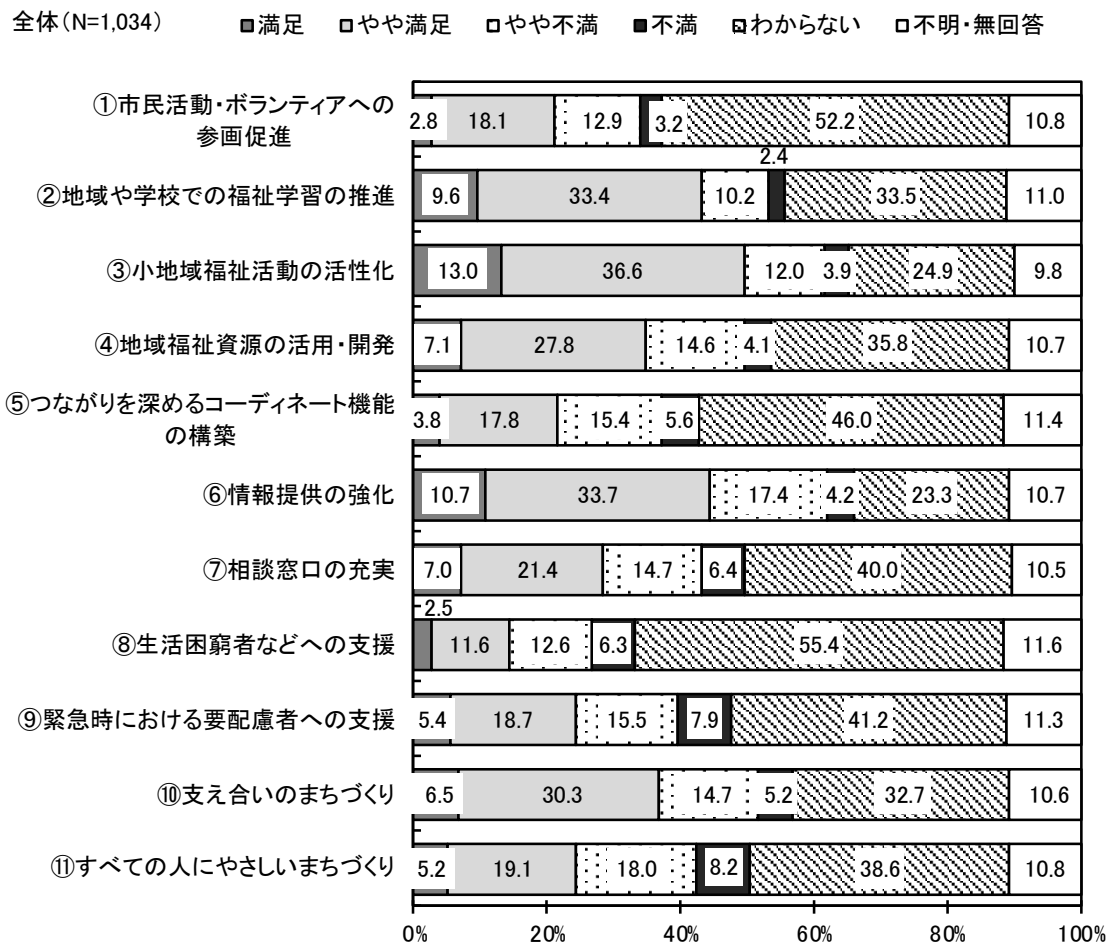


## 11. 「宍粟市の地域福祉施策」についておたずねします。

問 35 宍粟市における福祉政策の現状について、どのように感じていますか。(各項目のA：満足度とB：重要度について、それぞれ1つに○)

宍粟市における福祉政策の現状についての満足度は、『②地域や学校での福祉学習の推進』『③小地域福祉活動の活性化』『⑥情報提供の強化』で「満足」（「満足」と「やや満足」の合計）がそれぞれ43.0%、49.6%、44.4%と比較的高くなっています。「不満」（「やや不満」と「不満」の合計）が最も高くなっているのは、『⑪すべての人にやさしいまちづくり』で26.2%となっています。一方で、『①市民活動・ボランティアへの参画促進』『⑧生活困窮者などへの支援』では半数以上が「わからない」となっています。

### 【A:満足度】

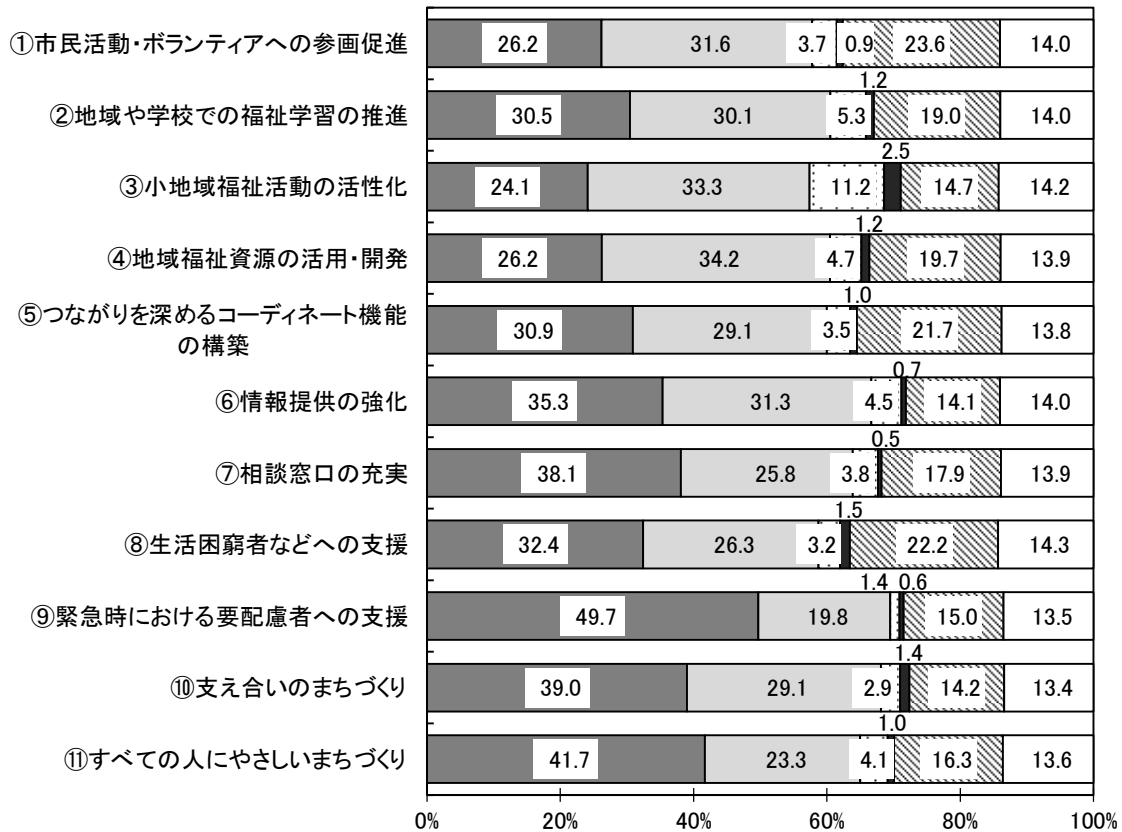




宍粟市における福祉政策の現状についての重要度は、いずれの項目においても「重要」（「重要」と「やや重要」の合計）が半数を超えています。中でも『⑨緊急時における要配慮者への支援』が69.5%と最も高く、次いで『⑩支え合いのまちづくり』が68.1%となっています。

【B:重要度】

全体(N=1,034) ■重要 □やや重要 □あまり重要ではない ■重要ではない □わからない □不明・無回答



問 36 今後、地域福祉を進めるために宍粟市はどのような施策に優先して取り組んでいくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

今後、地域福祉を進めるために、宍粟市が優先して取り組んでいくべき施策については、「地域住民同士が助け合い、支え合う仕組みづくり」が41.4%と最も高く、次いで「地域の福祉活動の中心を担う人材の育成・確保」が27.5%、「地域の福祉相談窓口の充実」が27.0%となっています。

